予	10	款	教育費	総	第 2	章 0	1性と創造性豊か)担い手をはぐく	な未来 むまち	復	()		
算 科	1	項	教育総務費	合計	第 1	節も	生きるカ」を持 たちを育成する	つ子ど	興計	()		
目	3	目	教育指導奨励費	画	(3		E実した教育を 環境をつくる	行える	画	()		
	₹施計画 載ペーシ	*	P 20	中	事	業	枚育指導奨励費					
事	業コート	''	002-001-002-00237	事	業	名 /	\中学校児童生	徒体育及	び文化	;活動ネ	補助金交付事	業
目的及	なび事業	内容	小・中学校の文化活動の一部助成等により保証 ・補助金の交付(平月	雙者負	担を軽	減す	5.			(上の)	大会へ出場す	「る際の交通費
取:	組実	績	補助金の交付 音楽コンクール県大名 費を助成した。 ・県大会参加回数 ・東北大会参参額 体育活動県大会以上に ・県大会会参の 体育活大会の ・県大会の ・東北大会参 ・東工大会参が額 ・全国数 ・補助金交付額		した中	812, 3 学校I	10回 (7校) 1回 (1校) 51円 に対し、大会に 38回 (16校) 11回 (10校) 2回 (2校)		-			
			音楽コンクールにおり	ける県:	大会等	へのき	参加に係る保護	者負担0)軽減か	図られ	れた。	
			主な指標	項目			H23	Н	24		H 25	
			補助対象校(补	前助件数	数)		4校(8件)	9校	(13件)	7校(11件	-)
			補助金交	付額			1, 166, 874円	5	76, 860	円	812, 351	円
成		果	体育活動における県ス	七会等	への参	カロィニィ	系る保護者負担	の軽減が	バ図られ	1. +		
			主な指標		.,,	7,51-1	H23		24	1,20	H 25	
			補助対象校(初	前助件数	数)		11校(34件)	17校	(62件)	17校(51件	-)
			補助金交	付額			3, 037, 842円	2, 8	74, 161	円	2, 198, 245	円
成果	に係る評	平価	各学校への補助金の3 等に参加する際の保護者									
												(単位:円)
	σ#./= ''		予算額	ž	中算額				決算額	の財派	原内訳	
予算	の執行状	「況					国(県)支出会	計	方債		その他	一般財源
											- 1	72577,1117

_		10	款	教育費	40	第 2 1			性豊かな:			())	
予 算 科		1	項	教育総務費	_ 総 合 計	第 1 1	₂₆ Γ:	生きるナ	」。 う」を持 う う う う う し う し う し う し う し う し う し う	つ子	復 興 計	())	
E		3	目	教育指導奨励費	一亩	(3)	, 充:		育を行	_	画	())	
	実施 載・			P 22	中	事 業	_	学資金費						
			- F	002-001-003-00230	事	業 名	- 奨:	学金貸与	事業					
目的及	及び	事	業内容	石巻市奨学金貸与条 人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償		づき、糸	圣済的	理由に。	より修学	困難な	生徒及	及び学	生に学資を	貸与し、有能な
				1 奨学金の貸与 (1) 奨学生の新規 平成25年度以 (2) 貸与区分(月	前に採月							–		
				区分	貸与月	月額		区		分		貸-	与月額	
取	組	J	ミ 績	高校在学	15,	000円	高	存在学	第3学:				15, 000円 35, 000円	
				大学在学	35,	000円	専	修学校 在	B 学(専)		35, 000円	
				(3) 貸与者数 (4) 貸与金額 26		1名 0円								
				有能にも関わらず経済		で修学団 「		生徒及び			幾会を 【			
				主な指標項			H23		H	24		Н	25	
				奨学金貸与ネ (うち新規貸与		101	名(2	5名)	82名	(16名)		71名	(20名)	
				貸与金額		36	, 210,	000円	30, 03	80, 000	円	26, 7	00,000円	
成			果	滞納額		35	, 856,	700円	44, 12	23, 200	円	49, 1	55, 900円	
成果	:1=1	係る	5評価	新規採用奨学生につ今 をかられる。また、昨今 をからえ、能しているが ホームや、では、では、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学と、 でいるが、 大学と、 でいるが、 大学と、 でいるが、 大学と、 でいるが、 大学の、 大学の、 大学の、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のできながが、 大学のできなが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでがなが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでが、 大学のでがでが、 大学のでがでが、 大学のでがなが、 大学のでがながなが、 大学のでがな	の経済(、今年) 校へのは しとし	青勢下に 要の 要の 要の 要の なると で を 数年 で を 数年	お採でて滞れます。	て、家語の名字を図ります。	十急変等 は4名でも っている がある。 る者がい	に対応 5った。 が、利 ること	する <i>†</i> 奨学 用者 <i>を</i>	こめ、 生の§ を増や	年度内途中 募集について すため、更	採用を平成22年 は、市報、 なる周知方法の た。今後は、相
											**	50 H.	E dier	(単位:円)
予算	ග	執行	示状況	予算額	Ħ	學額		- /:-:				収財法	原内訳	60.51.77
	•			27, 186, 000		26, 893	3 745	国(県)	支出金	地	方債	+	その他 26,893,745	一般財源
				27, 100, 000		20,000	., , , , ,						20, 000, 740	

予	1	0	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かの担い手をはぐく	むまち	復	()	
算科目		1	項	教育総務費	合計画	第 1 節	「生きる力」を どもたちを育成	する	興計画	()	
н		3	目	教育指導奨励費	曲	(2)	児童生徒の豊かな心 かな学力をはぐくむ	と体、確	画	()	
	実施計 載 ペ		*	P19	中	事 業	いじめ・生徒指	導問題対	対策費		
事	業コ	- ⊦	*,	002-001-002-00235	事		いじめ・生徒指				
	及び引				隻る 対に心市題のた題製 しつで 心小機者。 策かの子対諸。対で 増と不 の・関対 委かメど策問 策な 増と不メ中に	象 員るッも委題 にあ のを い、 で で で で で で で で の に の の の に の に の の に の の の の の の の の に の の の の の の の の の の の の に の の の の の の の の の の の の の	通して「いじょ」 をつ実施の作成施 でで、 19名の 実施の対 中学と組み作成が では、 19名の対 校にに成止の が会に、 19名の対 校にに成止の が表に、 4会の が表に、 4会の が表に、 4会の が発に、 4会の が発に、 4会の が発にに、 4の話活が、 4の話話が、 4のが が発い、 4のが がある。 4のが がる。 4のが がる。 4のが はる。 4の	で た	ない風情をおいる。	生づくり」を進め	、いじめの未然 有効な連携の在 象に講演会を実 象にして、市内 力言等受けるこ セージ集を作
				区分小学校		いじも	5の件数 21件	解消化		解消率	05.70
				中学校			29件				85. 7%
成		:	果	-							96. 6%
				高 校 ————————————————————————————————————			51件			7件	92. 2%
				※上記は文部科学省実施	もの平月	人 成25年度児		·動等生			
成果	に係	る評	平価	いじめの解消率は909 表れているととらえてし とはもちろんのこと、ま る。日ごろの道徳の時間 る。また、これまで以 要がある。	いる。* 記きた。 間の指導	今後とも未 ときの対応 算をベース	然防止に向けて として、学校を に、道徳教育の	の取組 あげて 充実に	が必要 その解 全力で	である。いじめの 決、解消に努める 取り組むよ う 各学	件数を減らすこあ いまなが大切けで でに働きけい や 把握していく必
									2+ AF A	5の 母派 亡 - 7	(単位:円)
							1		决算 器	質の財源内訳	
圣 ′	ω#±	ᄼᆍᆛ	-:-	予算額	Ħ	· 算額		1	775-1	1	
予算	の執	行划	* 沢	予算額	Ħ	中算額	国(県)支出	金 均	也方債	その他	一般財源

予	10	0	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊か の担い手をはぐく		復	()		
算 科		1	項	教育総務費	合計	第 3 節	新たな時代を創 人材を育成する	造する	興計	()		
目	;	3	目	教育指導奨励費	画	(1)	広い視野を持つ はぐくむ	人材を	画	()		
	€施計 載ペ-		;	P 29	中	事 業	外国青年英語指	導費				
事	業コ-	− ŀ	**	002-003-001-00225	事	業名	国際理解教育推	進事業				
目的及	なび事	業	内容	幼稚園、小中学校及で 外国語教育と国際理解者 1 市立中学校・高等学 2 市立小学校における 3 市立幼稚園・けやき	教育の3 校にお 外国語	た実を図 ける外国 活動の充	る。 語教育の充実 実		为手)	を活用し [・]	ての授業 [、]	や交流を通して
取:	組	実	*	1 市立中学校・高等学 ALT10名を配置グラムとT3名をT3名をT3名をT3名をT3名をT3名をT3名をT3名をT3名をT3名を	週ム接	A L Tに さ。 国語活動す ナーション 使った活	ついては、部活動 の授業に合わせて ン能力の素地を養 動等を行い、国際	等課外記 週1回程: えるよう 祭理解教	き動に ₹ 度配置 ₹ 6 方の充	し、担任と行った。 実を図っ	こ取り組み 教師と連 た。	携しながら、
				ALTを中学校、高等 育、国際理解教育を推進 生徒の割合を維持できて る。	達する: こおり、	ことがで	きた。また、引き	続き概ね	高いz i ンをii	k準で授	業を「楽 とに大い	しい」と感じる
				A L T との授業が楽 生徒の割合(中学1			82. 0%	8	5. 0%	-	79. 0%	80. 4%
成			果									
成果	に係ん	る評	萨価	平成23度から小学校でに努めている。小学校に に努めている。1年生にいては、77.8%で英語と値になっている。学校に ・ また、ALTをJEフ託)に段階的に切り替え	こおいて ついて こいう こよって 「(外国	ては、A は、83.1 枚科その ても差が 国青年招	L T との授業が楽 %と80%を超え ⁻ ものに対する苦手 見られるので、 A 数事業による任用	しいと感 こいるが、 意識が、 LTの指) から N	以 じ 学 力 が	記童の割: 差が顕著 こ表れ、f と含め今: - J E T	合は92.5% になって 也の学年1 後の改善1 (民間事	%である。中学 くる2年生にお こ比べ少し低い こついて考えた 業者への業務委
												(単位:円)
予算	の劫な	/ጉታ	÷:₽	予算額	涉	等額		1	決算額	の財源内	-	
1.34	~ <i>></i> +M1	ערני.	\ <i>//</i> L	44 CEO 000		44 410	国(県)支出会	赴 地	方債	7	の他	一般財源
				44, 652, 000		44, 410,	012					44, 410, 872

_		1					
予	10 款	教育費	総	固性と創造性豊かな D担い手をはぐくむ	^{まち} 復	()	
算科	1 項	教育総務費		「生きる力」を持 どもたちを育成す	る計	()	
目	3 目	教育指導奨励費		見童生徒の豊かな心と(いな学力をはぐくむ	本、確 画	()	
	⊌施計画 載ページ	P19	中事業	日巻・子どもの未	来づくり事業費	t	
事	業コード	002-001-002-00232	事 業 名	石巻・子どもの未	来づくり事業		
目的及	及び事業内容	石巻市立小・中学校引 1 子どもの未来づくり 「教員の指導力の 実」の具体的方策に 2 小・中学校長会ごとり 支会校長会ごとり 各地区の取り組み	推進委員会の設置 向上」、「児童 st ついて検討し、『 の連携 本事業の目的達成 推進地区連絡協調	t 徒の学習習慣のF 業を行う。 なのための計画をS 会の設置	ド成」、「小中 立て実践する。	連携による一貫	
取	組 実 績	1 子どもの未来づくり (1) 学力調査結果の 検討し、中学校 (2) 子どもの未来で を高めた。 (3) 家した。 (4) 子どもの未来で 集」にませる。 (5) 志を強く特を の交流をとの連大 (1) 中学力向上の情報 (2) 地医民成果発表を (3) 実践成果発表を	かが新等に基づき ができにまを学習がある。 ではりフォーフレスでは、 ができますができますができます。 ができますができますができます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	学校と家庭との の進め方について を2回実施し、児 トの内容及び活用 実践校の取組状況 具体的な実践とし でづくり推進 座区の の連携や 配と習 こついて話	て、リーフレッ 章生徒、保護者、 状況を検証し、 や成果をまとめ、 て、小中学校が の取組 の取組 の取組 でいまの のできる。 のできる。	トを作成し働き、教員がともに、 内容を改善して の、「事業報告書 が連携して弁論プ に登場である。 に登場である。 に関係する。 に関係な にし	かけた。 話合い、意識 こいくことを確 書、実践事例 へ会や体験活動
成	果	1 小学校と中学校が合 2 事業実施手法等の工 充実を図ることができ 3 各推進地区で作成し が図られた。 4 被災によって連携事 を行った。	夫により、より きた。 た家庭学習カー 業が困難となっ <i>1</i>	₹門性の高い講師! 『の活用を通して、 『学校があったが、	こよる研修会を . 学校と家庭が . それぞれ工夫	実施する地区が 連携する必要性 して校区にとら	増え、研修の について啓発 われない連携
成果	に係る評価	各地区の事業報告から 活習性も気に工夫しているがら 組を各地区に任せるだけ	D形成については ら取り組みを継続	、「家庭学習の手 していく必要があ	引き」の有効に る。また、教員	5用など、家庭と その指導力向上に	との連携の在り こついては、取 い。
				1			(単位:円)
					決算額の	財源内訳	
予算	の執行状況	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	- 34 07 PAIL 1 W. 70	3, 596, 000	2, 655, 6	58			2, 655, 668

予	10	款	教育費	総	第 2		性と創造性豊かな)担い手をはぐくむ		復	()		
算 科	1	項	教育総務費	合計	第 1		「生きる力」を持 ごもたちを育成す		興計	()		
目	3	目	教育指導奨励費	画	(2		童生徒の豊かな心と体 な学力をはぐくむ	★、確	画	()		
	E施計画 載ペー		P18	中	事	業道	適応指導教室運営	費				
事	業コー	۲	002-001-002-00227	事	業 :	名道	適応指導教室運営	事業				
目的及	び事業	(内容	不登校児童生徒個々の復帰を図る。 への復帰を図る。 1 通所児童生徒との教 2 児童生徒の実態等に 3 望ましい人間関係、	育相談 応じた	及び学 学習指	学校、 旨導	保護者との連携		i応指導	存を行!	い、自立を低	足しながら学校
取;	組実	績	1 通所児童生徒との物 通所児童生徒との物 で悩み等に受意を 2 児童生徒の実態生 (1) 通籍を受験生生の (2) 在辞校で使して 3 望まし紙教室ともに、 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	護対応人をい 仲話としたとめプ づ室	のた学り、リく、定と、学の学り、リく、書がいます。	期 旨実級トを首的 導態担で目教 や任の的室	育相談や懇談会名 学年を踏まえ、《 との連絡を密に名 学習など味をいり、 した体験習、スァ は、 調理実習、スァ	固に応し 行った原 帰 の充実 ポーツ	じた指 まか、 惑の育 数室 、	導・支 適応指 成を図	接を行った 導教室での つた。	。 定期考査受験
			教育相談活動や学習: の意欲を高め、一定の しかし、適応指導教 てしまうこともあり、	成果を 室通所リ	あげて 見童生	いる。 徒のキ	犬況は個々によっ					
			主な指標	項目			H23		H24		H 25	
成		果	不登校児童生徒の保 の相談件数	護者、	担任等	手と	77件			93件		108件
192、		*	通所児童生徒の再登	校率			18. 1%		2	5.0%	2	0.0%
			通所児童生徒の部分 (再登校者を含む)	·登校率			54. 5%		62	2. 5%	4	0.0%
成果	に係る	評価	平成25年度の不登校: るが、相変をいるが多生に るが、相変をやりです。 をく、不働等をは、 で、本のでは、 で、本のでは、 で、本のでは、 で、また、 で、また、 で、また、 で、また、 で、また、 で、また、 で、また、 で、また、 で、いに調査 を、で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 で、いい。 で、また、 を、また、 で、また、 を、 を、 を、 を、また、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	状況が終の要とします。 とというできる。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	売にる いは。年民な て至 セ生っ	いっ って ン 委 て 、	各々の学校で改いないことから、 一相談員、不登校・児童委員協議会 その対策に当たっ	善の努 専門的 対応員 で 対し	カはり な対 談をと	でいた。 でチー・ スク・ いべし、	るが、指導が ムを構成して ールソーシャ とする傾向の 不登校傾向の	が困難な事例も で本人や家庭に マルワーカー、 ト・中学校不登 の児童生徒及び
							1					(単位:円)
3. 笆	の執行	4:0	予算額	決	等額			:	決算額	の財派	原内訳	
17 异 1	v / ŦX17 J	ひんが					国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源
			4, 486, 000		4, 45	52, 60	6				372, 000	4, 080, 606

予	10 款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	:未来 :まち	復	()		
算 科	1 項	教育総務費	合計	第 1 節	「生きる力」を持 どもたちを育成す		興計	()		
目	3 目	教育指導奨励費	画	(2)	児童生徒の豊かな心と(かな学力をはぐくむ	本、確	画	()		
	₹施計画 載ページ	P 19	中	事 業	特別支援教育事業	費				
事	業コード	002-001-002-00228	事	業名	特別支援教育支援	員配置	事業			
目的及	及び事業内容	通常学級に在籍して「に支援員を配置する。 に支援員を配置する。 1 小中学校への支援員 2 当該児童生徒への支	の配置	i	ある児童生徒の日常	5生活支	で援及て	《学習指	導補助を1	₹うため、学校
取	組 実 彩	貞山小、開北小 広渕小、須江小 大原小、門脇中 2 通常学級における当 直常症、緩に死的緘黙 た。各学校では、学 た。 3 特別支援教育支援員	、、、、該る等級 研渡門万北蛇児、のや 修波勝石村田童知子個 会小	小ボール は では かいます かいます いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	LD(学習障害)、 への学習・生活支持 援のあり方について 浦達夫氏を講師を持	te 要小、 A を研 時 し、 で る で る も し る も し る も し る し る し る し る し る し る	. 飯野/ 姚生 H D なるす . 「子	川第一小山 注しど どもの ともの 自	、 大会小、 (4) 多数支援 (5) を支援 (6) を支援 (7) を表する。 (7) を表する。 (8) を表する。 (9) を	小、二俣小、 北上小、 高機能 調活用を工夫し する」の演題
成	果	特別な支援を必要と支援対象児童生徒の保 支援対象児童生徒の保 声が多く寄び修会を また、研修会を 支援員との情報交換を	護者やう	教職員から をで、支払 ととができ、	ら、「支援が充実し 暖員としてのスキル 支援員にとっては	ルたこと ルの向上 は有意義	: で安 で を 図 もの	いできる ととあっ うであっ	、感謝し [・] に、各学 ^材 た。	ている」という 交に配置された
成果	に係る評価	特別支援教育は、こ特別支援教育支援員のど、大きな成果をあげの配置人数の拡充が必要	存在は、	、障害がある。学校やは	ある児童生徒への支	援や学	₩への)学習指	導等の充実	実につながるな
							決算額	の財源区	———— 勺訳	(単位:円)
予算	の執行状況	予算額	ž	央算額	国(県)支出金	地	方債	ã	その他	一般財源
		44, 144, 000		41, 262,	533					41, 262, 533
		•								

予	10)	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かれ の担い手をはぐくも	は未来 ひまち	復	()		
算科	1	1	項	教育総務費	合計	第 1 節	「生きる力」を持 [*] もたちを育成する	う子ど	興計	()		
目	3	3	目	教育指導奨励費	画	(3)	充実した教育を行 環境をつくる	īえる	画	()		
	፪施計 載ペ−		;	P20	中	事 業	定住外国人就学习	泛援事業	費			
事	業コ-	- F		002-001-002-00238	事	業名	定住外国人就学习	を援事業				
目的及	なび事	業	内容	石巻市に転入し、就学語を話すことができる家生活等のサポートをする	党支护							
				支援を要する外国籍の 校での通訳や簡単な日本								
				主な指標項目	1		H23	H24		Н	125	
				支援を必要とするを 児童生徒数(校		ח	7人 (7校)	7人(7校)	8.	人 (8校)	
取	組	実	績	配置した支援員	数		7人		8人		7人	
				主な支援母国語は、ジ	スペイ	ン語、タ	ガログ語、英語な	どである	3.			
成		į	果	平成25年度は、市立/コミュニケーションの手 ことができた。また、伊	- 伝い 4 手せて i	⇔簡単な E ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本語指導を行い 担当教師の支援	当該児の役割も	童生代 担った	走及びそ [、] た。	の家族のそ	下安を取り除く
成果	に係る	る評	· 価	必要とする小・中学材 題とは別に様々な家庭事 る。 石巻市の定住外国人の ることから、今後も継続	情に。 数は±	よって突然 曽える傾向	*母国に帰国する <i>*</i> ** *** *** *** *** *** *** *** *** *	ケースも	あり、	支援員	の待遇が難	推しい状況があ
									1		6 =n	(単位:円)
予算	の執行	计状	況	予算額	Ħ	₽算額		I		頭の財源区		40 - 1
. ,,				2 202 000		2 070 1	国(県)支出金	地	方債	1 - 7	その他	一般財源
				3, 203, 000		2, 978, 3	990					2, 978, 398

		10	款	教育費		第	章				()		
東日本大震災関係費	算	1 7	項	教育総務費	合	第	節			興	()		
東施計画 掲載ページ 事業 学び支援コーディネーター等配置事業 事業コード 事 ま 名 学び支援コーディネーター等配置事業 事業コード 東日本大震災により、地域コミュニティーの前様で依談性宅居住など住環境が変化し、教育に家庭学習の習情形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い に家庭学習の習情形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い と		7											
掲載ページ	宇打			木口平八辰 灰因床貝	-								
東日本大震災により、地域コミューティーの削壊や仮設性宅居住など住環境が変化し、教育に家庭宇宙の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い様に基礎本を確実に定義させ、学力の全体的な底上がそ回るもの、児童生徒の宇宙支援や保護者の学習相談等に携わる「学び技援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の宇宙支援や保護者の学習者服等に携わる「学び技援」の配置 3 児童生徒の宇宙支援・保護者の学習支援のために学習の場・機会の提供 1 夏休み宇び教室」の開催 (会場:宮城県石巻工業高等学校) (1)開催日時 平成25年5月7日~9日 21~22日 小学生・9・30~12・00 中学生:13・00~1 (2)参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒・小学34生~中学34生 (3)内 容・自分で数材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。・学び支援員等が適宜、指導や助高等の学習支援を行った。・児童生徒・保護者の部を望右に学問制を行った。・児童生徒・保護者の部を望右に学問制を行った。・児童生徒・保護者の事の主ないまた。 1 (1)開催日時 平成25年5月7旬~平成26年2月 15・00~17・00 ※学校の実備に応じて計画を立てで学習支援を実施した。 (2)参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒・小学34生~中学5年生 (3)内 容・自分で数材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び利数食等が適宜、指導や助高等の学習支援を実施した。 ・学が研教会等が過度、指導や助高等の学習支援を実施した。 ・学が根談員等が適宜、指導や助高等の学習支援を実施した。 ・学が相談員等が過度、指導や助高等の学習支援を行った。 ○仮設住宅等で家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることが意がまるよりも集中して取り組みを終らせることが変きた。 ・学部の自信と意ななかった児主という声を聞くことができた。 ○原健学習が十分にできさなもかった児という声を聞くことができた。 ○原健学国が十分にできなかった児主生徒・放譲後学び教室と参加することで学習習慣が表してきなかった児主生徒を入 放譲後学び教室と参加することで学習習慣が表しませばら、個別に対理を使え、機関を行った。 ○原生では、一般に対することで学習習慣が表しませばら、の事を保険を変化を関いてきまなかった児主生徒のよりにないできまともかったりとは、12日の事業としては自的が達成でき、大きな成果があったが、次の2点については改善の必要を図る。 2 要手体集中の学が教室は好評だったが、旧町からは通いづらいので各小中学校を会場としが変を図る。 2 要手株乗りの学が教室は好評だったが、旧町からは通いづらいので各小中学校を会場としが変を図る。 2 要手株乗りの学が教室は好評だったが、旧町からは通いづらいので各小中学校を会場としが変を図る。 2 要手体集中の学が教室は好評だったが、旧町からは通いできなからいのできないといいるといいのできないのできないといいのできないといいのできないといいのできないのできないといいのできないのできないのできないといいのできないといいのできないといいのできないといいのできないのできないといいのできないのできないのできないのできないのできないのできないのできないのでき	掲載	ポページ			中	事	業	学び支援コーディ	ネータ	一等酉	己置事業領	費	
に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い 徒に基礎基本を確康に完着させ、学の全体的な底上げを図るもの。 1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」の配置 4 長期休業中と平日の放譲後の学習支援のために学習の場・機会の提供 1 1 夏休み学の教室」の開催 【会場「富城県石巻工業高等学校】 (1)開催日時 平成だ8年3月7日~9日 21~22日 小学生・9:30~12:00 中学生:13:00~1 (2)参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒、小学3年生~中学9年生 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び支援自等が適宜、指導や助言等の学習支援を実施した。 (2)参加対象 保護者の参加を承諾した石巻市立・中学校に在籍する児童生徒 小学3年年~中学年年、保護者の ・学び有談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を実施した。 ・学び有談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学は相談員・大陸16 418 (1) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (4) (5) (5) (6) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事業	ロード		*D++****								が赤ルー	松 杏厚块 杜
(1) 開催日時 平成25年8月7日~9日 21~22日 小学生:9:30~12:00 中学生:13:00~1 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生 中学2年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者におじて計画を立てで学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生 中学2年生 (3) 内 容・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を表施した。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を実施した。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・学が相談会で教室で、実施回数:1,121回 (小学生 481名、中学生 1982) ・参加者数:16、481名、中学生 481回、中学生 481回) ・参加者数:16、481名 (小学生1)、686名、中学生 478回) ・参加者数:16、481名 (小学生1)、686名、中学生 478回) ・参加者数:16、481名 (小学生生 25回) ・参加者数:16、481名 (小学生1)、686名、中学生 478回) ・参加者数:16、512 (小学2年 481名、中学生 1982) ・	目的及证	び事業内	内容	に家庭学習の習慣形成が 徒に基礎基本を確実に 1 地域に必要な学習の 2 児童生徒の学習支援 3 児童生徒の学習支援 4 長期休業中と平日の	ド困難が 記着 場を保護 場を保護課 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	な状 学 一者の 学	にたの イ学学習	いたため、学び支 の全体的な底上げを ートする「学び支持 相談等に携わる「学 技援員」の配置 援のために学習のは	援コー 選コー 学び相 場・機:	-ディ: - の。 ディネ 談員」 会の提	ネーター: ーター」 の配置	等の配置を	
た。	取組	且実	績	(1)開催日時 平成2 (2)参加対象 保護者 (3)内 容 ·自欠 ·党员 (1)開催日時 平成2 (1)開催日時 平成2 (2)参加対象 保護3 (3)内 容 ·自欠	5年が年 かず堂 の5年が年を移生 で支生 開5の参とを利りた 林媛徒 催月90参とを	7 四中 才員 下臭四中才日を学 を等保 「旬情を学を一个「一個」では、「日本学学技術」では、「一人」に、「一人」に、「一、「一人」」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一人」に、「一、「」」に、「一、「一、」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「一、「」」に、「」に、「」」に、「一、「」」に、「」に、「」」に、「」	9 諾年 参適者 会 > 応諾年参日 し生 し宜の 場平じし生し	21~22日 小学生た石巻市立小中学 た石巻市立小中学 に、課題を決めて自 、指導やサップをの が発望者に学のでする。 では、15年では、 では、 では、15年では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	生:校 主学を DOO習校 主 学習行 教~支に 学習行 室前援在 習支っ 室前	30~12 ・	5 児童生名 った。 ったった。 した も り した も り った。	走	00~15:30
る。 1 学び相談員・支援員の人員確保が十分にできなかったので、市報を有効に活用するなど募録改善を図る。 成果に係る評価 2 夏季休業中の学び教室は好評だったが、旧町からは通いづらいので各小中学校を会場とした室の実施も推奨していく。	成	Ą	果	た。 〈夏休み学び教習 〈放課後学び教習 〈放課後学び教室 ○夏休み学び教をできる。 「会社のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	を と はきで意で図 > 、とき欲はる	を施加を かけん はい	数数数数量かたよにで・・・・生つ児う指き	10回(小学生 679名(小学生 1,121回(小学生 16.481名(小学生 16.481名(小学生 たりという声を聞 た」という声を聞 童生徒も、放課後 ² になってきている。 頃を要する児童への た。	5 481 643 11,086 庭くこびを ジンび教 の時間	回名回名強が室 が 中中中中るき参 保	学学学学よた加 できょう まっこう きょうしょう きょうしょう きょうしょう きょうしょう きょうしょう かいかい かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	5回) 198名) 478回) 395名) 延中して取 ことで学習	り組め、宿題 習慣が身に付 連携すること
	成果に	に係る評	価	る。 1 学び相談員・支援員 改善を図る。 2 夏季休業中の学び教	の人員 室は好	確保	が十	分にできなかったの	ので、	市報を	有効に活	5用するな	ど募集方法の
↓ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										決算額	の財源に	 为訳	(年世:门)
予算額 決算額	予算 <i>σ</i>	D執行状	況	予算額	Ħ	中算額		国(県)支出全	l .				一般財源
8, 100, 000 6, 417, 940 6, 417, 940				8, 100, 000		6, 4	17, 9			,/」 [艮		()/IE	N. 194 X21

予	10 款	教育費	第章		復	(4) ^{未来のため} り、人・新	に伝統・文化を守 たな産業を育てる
算 科	1 項	教育総務費	合 第 節		興計	(1) 未来の人	を育てる
目	7 目	東日本大震災関係費	画 ()		画	(3) 子どもの	ケアの実施
	- 実施計画 載ページ	P179	中 事 業 ス	クールカウンセ	ラー配置事業	費	
事	業コード	004-103-002-00525	事業名ス	クールカウンセ	ラー配置事業	〔復興基金〕	
目的及	ひ事業内?	カウンセラーの相談 児童生徒の健全育成に 1 スクールカウンセラ 2 生徒・保護者・教職 3 カウンセラーを活用	賢する。 一の配置 員・学区内小学生等	∮の要望に応じ <i>†</i>	こ カウンセリ		図るとともに、
取;	組実積	希望した小学校32 2 カウンセラーの配置 (1) 中学校 年間3 (2) 1回あたりの時 3 カウンセリング研修 各学校で研修日を	置(中学校カウン- 校に配置(広域スク 状況 5~38回、小学校 間(県で決定) 6 等の実施	7 一ルカウンセラ 年間5~38回 ~8時間	ラ 一)	ンセラー)	
成	果	中学校はもとより多に相談できる体制が整合め、学校や家族の問題をおります。 中国 おいまい おいまい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい	構されつつある。そ 直等の解決の一助と H23 H2 3,631件 5, 4,049人 5,	れが相談件数の しての役割を担 4 H2 420件 5, 984人 5,	増加につなが 2つている。 5 241件 857人	H 25相談人数書 H 25相談人数書 児童生徒 4 教職 貴 4 保護者 1	後の心のケアも <u>明合</u> H.1.1% 4.2% 4.7%
成果	に係る評価	相談の件数、人数と われる。配置体の児童 がっていくことも考え 長期的にカウンセラー(・生徒・保護者・教 られ、今後も継続的	職員からの相談 な配置が必要で	に対応するこ ある。また、	ことが、積極的な生	E徒指導につな アの面からも、
					油 質好	 [の財源内訳	(単位:円)
予算	の執行状況	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源

予算		10		教育費	総合	第	章				復興	(4)	未来のため り、人・新	に伝統・文化を守たな産業を育てる
科目		1	項	教育総務費	計画	第	節				計画	(1)	未来の人	.を育てる
				東日本大震災関係費	回	()				画	(3)	子どもの	ケアの実施
	実施 載~			P 179	中	事	業	スクール	ソーシ	ヤルワー	- カ 一酉	己置事業	貴	
事	業=	1—	ド	004-103-002-00525	事	業	名	スクール	ソーシ	ヤルワー	- カ 一酉	置事業		
目的》	及び	事業	内容	2 児童相談所などの関3 市内小中学校におけ4 市内小中学校の教職スクールソーシャル・	動の早 徒係諸校・員・力	期対れは関でで表して、	応や環の支の	早期解決で境(家庭ットワー体制やチーロットの研究を はまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	図る。や学校の構造の人体	等)に対 築と連携 制の整備 での啓発	して面や調整の支援活動・	談などの に努める を行う。 情報提供)働き掛け。	を行う。 。
				1 スクールソーシャルに児童相談所や市民相また、震災後の児童ることはもとより、児童掛けている。	談セン 生徒 <i>0</i> 童精神	/ター)ケア 神科 医	-など 'につ ミとも	の関係機 いても、 連携して	関と連 学校に おり、	携して対 配置され	応して ている	いる。 スクール	カウンセ	ラーと連携す
取	組	実	績	〇配置状況(平成 拠点校 門脇小・大川小 向陽小・青葉中 山下中 石巻市教育委員会 万石浦中、執生中 2 訪問活動:勤務総日 連携した機関:児童 警察署等	数延~	×445	期 1日 1日 1日 1日 1日 1日	務時間、 6時間、 6時間、 6時間、 6時間、 6時間、 6時間、 5 5 5 5 5 8	3数 33日 32日 32日 31日 31日 5問延~		(虐待	防止セン	・ ター)、	精神科医、
成			果	1 スクールソーシャル 2 問題を抱える児童生 3 震災の影響で子ども が出てきた。 4 教員に対してコンサ 5 スクールソーシャルワーク支援対象児童生徒 主な指標項目 小学生 中財内容 相談内容 素力、非行・不良行	徒の家に目を ルテー 一カー 数 H23	R庭訓 E向け	問等 ける シ配 数 72件 5件	を行い、 裕のない 行うことに H24 68人 91人	少保 によ 解 8件 1件	つ登校で の話をじ 、教員の	きるく るく の が が を が を を を を を を を を を を を を を	うになっ 聞くこと 共有する	た。 により、 ことがで なケースに 中 30件 1件	気持ちの余裕 きた。 も対応できた。 その他 9件 0件
				児童虐待 家庭環境の問題 その他			5件 70件 49件		1件 8件 6件		3件 12件 15件	* / 55	1件 37件 23件	1件 13件 4件
成果	とに係	¥б.	評価	不登校、暴力行為を「 ケアにない問題等、」 ださい問題をスクー、 ぞれが助けらなってき 応するようになってき	スクー レソー 、スク	ルソ [.] シャ. ール	ーシ ^ュ ルワ-	ィルワーナ -カーがイ	ューが対 ↑入する	対応する問 ることによ	問題は はって、	多岐にわ 児童生	たる。学 徒、保護 [‡]	交だけでは解決 者、教職員それ なって問題に対
											決算額	頭の財源区	内訳	(単位:円)
予算	「の 幸	执行》	犬況	予算額	ž	夬算額	頂	国(県	見)支出	金 地	力債	- 7	その他	一般財源
				11, 690, 000		9,	908,	065 9	, 908, 0)65				
_	_													

予	10	款	教育費		総	第章			復	(4)	未来のため り、人・新	に伝統・文化を守 たな産業を育てる
算科	1	項	教育総	務費	合計	第節			興計	(1)	未来の人	、を育てる
目	7	目	東日本	大震災関係費	画	()			画	(3)	子どもの	ケアの実施
	『施計画 載ペー:			P179	中	事 業	ハイスクール	レカウンセラ	一配置	事業費		
事	業コー	۲	004-	103-002-00525	事	業名	ハイスクール	レカウンセラ	一配置	事業〔	復興基金〕	
	とび事業		1 ハイ 2 生材 1 ハイ 1 ハイ 1 カウ 1 カウ (1)	未然 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	と、歳ととに、歳の空をとして、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では	の配置 セック である である であった である である できまる できまる できまる できまる できまい できまい できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	リングの実施 の支援活動 たカウンセリ とし、月平均	ングの実施 2~3日の勤i に関する講座			マセリング	を実施した。
			的に機 が取ら いては	の不安や悩みの 能している。まれ、心の問題を 、カウンセラー 等を行うことで 主な指標項	た、カ 抱える ・ 教育 成果が	ウンセラ- 生徒に対 相談係・3 上がって「 H22	ーと教職員と して適時な対 護護教諭・担 いる。	の情報交換や 応を行うこと 任等との連携 H24	ウケース さができ 携により H2	会議等 た。特 、本人	を通じて、 に支援が	. 学校内で連携 必要な生徒につ
				相談件数		244件		292件		85件		
成		果	L	相談人数		342人	. 314人	358人	3	54人		
			Г	H25相談人数F	勺訳	生徒	教職員	保護者	計			
				女子高校		77人	. 87人	5人		69人		
				女子商業高	校	64人		2人		85人		
			※ 教	計 徒の相談内容は 職員の相談件数 ある。			家族関係」、		・友人関			
				震災関係」の相			= 7 hv = 1 h	, <u>.</u>	. . .	=- + 0 <u>-</u> -	11.	= 1 1= 1 =
成果(に係る	評価	支えら ラーに	な時期にある高れる部分も大きれる相談体制を よる相談体制を るといわれてお	い。生 維持す	徒の心を! ることは!	安定させ、落 必要である。	ち着いた学校 持に、生徒 <i>0</i>	交生活を D問題行	送らせ 動は震	るためにI 災後3年目	ま、カウンセ 以降にピーク
												(単位:円
				予算額		夬 算額			決算額	の財源I	为訳	(単位:円)

1, 846, 700

1, 846, 700

1, 878, 000

	_		_		_			T		ı	1	
予	1	0 款	教育費	総	第	章			復	(2)	での暮らし	
算科		1 項	教育総務費	合計	第	節			興計	(1)		活・健康支援 医療の確保
围		7 目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	被災者へ	の生活支援
	€施記 載ペ	†画 ージ	P 138	中	事	業	震災奨学金給付事	業費				
事	業コ	ード	002-101-001-00355	事	業	名	震災奨学金給付事	業				
		事業内·	なった小・中・高を なった小・中・高を (2) 給付額: 月額(年) 小等学校等に在字 高等学校等に在学 対象者が高等学校 オカカー オカカー カーカー カラの震災孤児リリス ひいっちの震災孤児リリス ひいっちの震災 からの震災 からの震災 かん まんけんた。	たに生額るす 等 割校ト け類修 住。 者る を 知及と に学 所未 一者 卒 が照 よ	の機: 10,00 2 30,00 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	会 し見 00000 る か. 象 と た	提供し、もって有能 かた親が、震災によ いいては、小学校へ (120,000円)、中 (360,000円) で給付する。ただし なあてに、制度にご	能なり入り 学 いの いり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり	すを 又 に 教知の 震災 の 震災 の の の の の の の の の の の の の の の	成 行付 学 法 たて 奨す 方開 す に だ個 学 に だ 別 生 と	とする。 · 20,000円 · する修業 · 1 して採用る	両親がいなく (240,000円)
成		果	平成25年度は小学生 区分 小学生 中学生 高校生 合計	人数 12人 9人 12人 33人		1 2 4 7	給付額 ,440,000 円 ,160,000 円 ,320,000 円 ,920,000 円					
成果	に係	る評価	児童相談所からの震 果、33名の震災孤児に ;									できた。その結
									決算額	頃の財源	内訳	(平24.11)
予算	の執	.行状》	予算額	ž	夬算額	Ą	国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源
			7, 920, 000		7.	920, (000				7, 920, 000	
			7, 320, 000		. ,	,					, ,	

予	10	款	教育費	総	第	章		復		(4)	未来のため! り、人・新!	に伝統・文化を守 たな産業を育てる
算科	1	項	教育総務費	合計	第	節		興計		(1)	未来の人	を育てる
目	7	目	東日本大震災関係費	画	()		画		(1)	学校教育 設等の復	・社会教育施 旧・復興
	€施計画 載ペー		P174	中	事	業	適応指導教室整備	事業費				
事	業コー	۲	004-101-001-00551	事	業	名	適応指導教室整備	事業〔復 卿	製交 付	金〕		
目的及	及び事業	(内容	東日本大震災で被災し応じた生徒指導、学習打									:個々の実態に
取	組実	績	適応指導教室整備事第 1 適応指導教室建設用 (1) 面積 502.72㎡ (2) 場所 石巻市向 2 適応指導教室建設工	地取得 陽町三	丁目	13番						
成		果	適応指導教室整備のかられた。									設の推進が図
成果	に係る	評価	H26年度の完成に向い	丁、関係	糸課 6	生連携	しなから、適応打	百得教至整修	庙事美	果を推っ	進した。	(単位:円)
								—————————————————————————————————————	類の	財源内		
						_			1 1130 - 0	, 141 W/V L	内訳	.,,
予算	の執行	状況	予算額	決	等額	Į	国(県)支出金	1		1	その他	一般財源

予	1	0 款	教育費	総	第	章			復	(4)		の伝統・文化を守 たな産業を育てる
算 科		1 項	教育総務費	合計	第	節			興計	(1)	未来の人	を育てる
目		7 目	東日本大震災関係費	画	()			曲	(3)	子どもの	ケアの実施
	実施計 載ペ		P180	中	事	業	防災教育充実事業	費				
事	業コ	ード	004-103-002-00528	事	業	名	防災教育充実事業	〔復興	基金〕			
目的及	及び哥	事業内容	地域ぐるみの防災教育 どもにとって安心、安全 と向き合い、たくましく 引 地域ぐるみの防災教 2 児童生徒の災害対応	な地 生き 育の推	或環: る災: 進	境づく 害対応	くりを進めるととも に能力の育成を促進	に、教 する。				
取	組	実績	としての学校防災の 主な事業としては、 小・中学校相互サポ した「防災合言業 〈平成25年度実績〉 ・最優秀賞 1点、	者今防ーン 優を 一番の(シー 募手)	担在地スル作り	部方・ムを 点 点	波)に係る「目指す OJO(互助)を討 施し、優秀作品を可	協議約 け児童・ 设置した お報及で	吉果を・生徒こと ・生まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	基に具体 像」の設 た、市内 本に掲載	的な事業 定、災害 の全小中 した。	を展開した。 時対応市内
			本市の実態に即し 委員会が中心となり と具体的な指導法の <平成25年度実績>	た防災 、発達 紹介を	教段目 校下	推進に応し		桟できる 列集を化	るよう 作成し	にした。 た。	また、指	導事例の累積
戍		果	1 学校防災推進金議 ついて話さる、学校防災 図った実践的な防災 た。 2 副読本を活用した 上した。 実践事例集を教師が	各校の別様を記録を記録を記述しています。	へい実 育 す	具体の す 展 こ ま ま と に	D支援体制の確立が 各会議を実施した。 ことにより、児童生 することにより、 別 こより、 防災に対す	図ま徒 童 る た及 生 対 応 応	た。意識が地域である。	また、 徐 () () () () () () () () () (校において 地域や保証 での知識と での知識と	には、地域の実 護者との連携を 機啓発に繋がっ と対応能力が向
成果	に係	る評価	学校防災推進会議等に る学校防災の一層の充実 市内各学校で活用して 実践事例集においても、	を図っている	る必.	要が 本に:	ある。 ついては、今後内容	を検討	し、扌	指導の充		
								;	決質変	の財源の	 勺訳	(辛四・门)
予算	の執	行状況	予算額	5	中算	Ą	国(県)支出金		方債		その他	一般財源
			1, 910, 000		1,	070,			- 3 154		, 070, 510	12 N 1 1111

予	10	0	款	教育費	総	第	章			復	(4)	未来のため り、人・新	の伝統・文化を守 たな産業を育てる
算科		1	項	教育総務費	合計	第	節			興計	(1)	未来の人	を育てる
目		7	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(3)	子どもの	ケアの実施
	€施計 載ペ-		,		中	事	業	学校防災検証事業	費				
事	業コ-	- F	:		事	業	名	学校防災検証事業	〔復興	基金〕			
目的及	及び事	業	内容	石巻市立大川小学校で会等の状況・対応につい発防止に役立てるととも	ハて公	E中3	立かっ	P客観的に検証し、	これを	教訓と	こして後	と世に残する	学校、教育委員 ことにより、再
取	組	美	績	な検証及び今後の学: (1) 本学師の本件事故 当立 本件事故 当立 本件等 で の も で が の 本件等 で の 本件等 で の ま で が の 地等 に 設 対 で も 背 ま ま を も た 本 に も も と た 本 作 の と 本 作 い と で に な で に い く ぐ で に い と い と い と い と い と い と い と い と い と い	5巻条 証 専校 びに交査を調 しに 自己 るい 後女上に 市託 一性災 そす石か査 たつりび 関の の日に	・こ をの れる巻らし 要い、宮 係と 본及引石よ 有在 以経市津、 因で 学城 当し 校びけ、	巻り すり 前緯教波本 を検 校県 局た 方そ市独 る方 のや育製件 基証、知 及。 災れ者立 る ラッキ まる 単 で る のし	対する はいます かく はいます かく はいます かく はいます かいます いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	によ 変っ の で教因 大 宮当 す 員別る 事た 状地委職を 等 城該 る 会会し検 梲 況域員員で を 県部 法 等	て証 証 ・に会、き 回 教局 律 のないにはる 避 育と 上 状状	文制 員 ふけお或艮 す 委牧 及 兄科し を 検災る民明 行 会委 行 ・対 に 証害等争い 重 の員 政 所	全省で、 という はいます という	成果 事
成		ļ	果	文部科学省の主導の「「円卓会議」を開催し、 「円卓会議」を開催し、 また、支部ら大方及でまた、支部と課題、今後の学れ を示した課題をいるといることができた。	委託 3 理解 3 が宮城り を防災 1	たに記 を得る 果教す	設置すた上で 育委員	「る検証委員会の枠 『、本事業を実施す 員会の指導の下、適 記言が示された「大	組み、 ること i正に検 :川小学	委託業 ができ 証業表 校事は	能者の選 きた。 務が実施 女検証報		長員等の人選等 川小学校事故の 食証の成果とし
成果	に係ん	る割	严価	検証委員会による検記 れ、遺族の持つ疑問から 大川小学・特証報告書の マニュアルの点検及び改 育の充実」に取り組み、	きてに は多く、 「24項」 対善の	答を!	見出す の教訓 是言」 「 ^②	検証結果が得られ を今後に活かして の実現に向け、「 防災副読本の活用	なかっ いくこ ①学校 や実効	たもが とが必 防災を	Dの、本 必要であ 基本方針 ある避難	検証事業(る。 けの見直し」 推訓練の実施	こより得られた 「②学校防災 施による防災教
										4 管 宛	の財源	内部	(単位:円)
予算	の執行	行状	沈	予算額	ä	中算名	Ą	国/周〉士山人			<u> </u>		<u>60.84 %</u>
				57, 126, 000		56	901. (国(県)支出金	地	方債 ———	_	その他 37, 125, 505	一般財源 19,775,574
				57, 120, 000		υō,	⊎01, (פוו			,	01, 120, 505	19, 770, 574

				<u> </u>	and I what is the first			
予	10	款	教育費	総第2年(国性と創造性豊かな D担い手をはぐくむ	^{`まち} 復	()	
算 科	2	項	小学校費	計第二即	「生きる力」を持 ごもたちを育成す	る計	()	
目	1	目	学校管理費		た実した教育を行 環境をつくる	える 画	()	
	ミ施計画 載ペーシ		P 21	中事業	小学校管理費(教	(育総務課)		
事	業コート	*	002-001-003-00217		遠距離通学支援事			
目的及	ბび事業	内容		安全かつ安心して 行 の交付	通学できる仕組	みを提供する。		
			遠距離通学の対象児童 学児童の保護者には交通			とともに、公共	交通機関を利用	する遠距離通
			1 スクールバス等の運	Ŧ				
			区分	年度	学校数	対象人数	金額	
			スクールバス等	H24	10校	270人		, 885, 603 円
			※スクールバス等対象	H 25	7校	224人	46	, 134, 355 円
取	組実	績	稲井小学校、東浜小 2 遠距離通学費補助金	学校、二俣小学校	、大須小学校、	中津山第一小学	校、桃生小学校	、大原小学校
			区分	年度	学校数	対象人数	金額	
			法匹献语尚弗法明会	H 24	4校	68人	2	, 016, 320 円
			遠距離通学費補助金 ※遠距離通学補助金対	H 25	4校	66人	1	, 880, 880 円
			スクールバス等の運行 た児童に係る、登下校中			で、学校統廃合	などにより遠距	離通学となっ
成		果	遠距離通学児童の安全			5事業であること	c から、地域の ^g	を情に配慮しな
成果	に係る記	平価	がら引き続き適正な運行					
			ı		T			(単位:円)
			予算額	決算額		決算額の	財源内訳	
予算	の執行も	犬況	2 21.1000	** * * T WA	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
l								

算 日 日 学校管理受 計画	予		10	款	教育費	総		2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	まち	復	()		
日 学校管理費	算		2	項	小学校費	合	第	3 節	新たな時代を創造 人材を育成する	する	興	()		
# 東	目		1	目	学校管理費	画	(1)		材を	画	()		
小学校学習指導要領の記により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度 から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の完実を図ると ともに、教員の指導力の向上を図る。 小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践					P30	中	事	業	小学校管理費(学	校教育	課)			
から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。 小学校外国語活動指導補助員による外国語活動が授業実践 補助員名を希望のあった29校に配置し、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。なお、外国語活動は、年間35時間だが、残りの10時間は外国青年英語指導助手(ALT)とのティームティーチングを行っている。 取 組 実 績 「児童の興味・関心の向上 (1) 外国語に堪能な補助局の英語での指示や全話を聞かせることにより、児童の外国語不動の興味・関心を高めることができた。 (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合・89 1%) (2) 担任と補助員が実語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを飾らませ外国語活動に変数的に取り組ませることができた。 2 コミュニケーション能力の向上 相助角の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。3 担任の指導力の向上 外国語活動を指導する担任教師に対し、指導補助員が適切に補助を行い、安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことにより、指導初の向上につながった。 東原果から、指導補助員の活用は効果的であると考えられることから、次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 成果に係る評価 1 担任と補助員の活用は効果的であると考えられることから、次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 2 配置希望のある全小学校への配置のための人材の確保 予算額 決算額 決算額の財源内訳 (単位・円) 予算額 決算額 決算額 (単位・円)	事	業コ	- 1	"	002-003-001-00234	事	業	名	小学校外国語活動	補助員	活用事	業		
# 補助員の名を希望のあった29枚に配置し、1クラス当とり年間25時間の外国語活動の補助を行った。 なお、外国語活動は、年間35時間だが、残りの10時間は外国青年英語指導助手(ALT)との ティームティーチングを行っている。 取 組 実 績 1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語に構能な補助員の英語での指示や会話を聞かせることにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合・・89.1%) (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。 2 コミューケーショと能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。 3 担任の指導力の向上 外国活活動を指導する担任教師に対し、指導補助員が適切に補助を行い、安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことにより、指導力の向上につながった。 「中成23年度から小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動が義務付けられ、実施している。事業成果から、指導補助員の活用は効果的であると考えられることから、次のような課題を解決しながら、令後もより良い事業を目指して推進していく。 「担任と補助員とが適切に役割分担をし、協力して授業を進めていくことにより、より一層の指導計の充実及び担任を範の指導力の向上が図られる。 2 配置希望のある全が失い配置のための人材の確保 ・ 本の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目的及	及び ↓	事業	内容	から全面実施されたこと ともに、教員の指導力の	により	り、	小学校						
(1) 外国語に堪能な補助員の英語での指示や会話を聞かせることにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。(外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…89.1%) (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。 2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。 3 担任の指導力の向上 外国語活動が指導する担任教師に対し、指導補助員が適切に補助を行い、安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことにより、指導力の向上につながった。 平成23年度から小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動が義務付けられ、実施している。事業成果から、指導補助員の活用は効果的であると考えられることから、次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 1 担任と補助員とが適切に役割分担をし、協力して授業を進めていくことにより、より一層の指導計画の充実及び担任教師の指導力の向上が図られる。 2 配置希望のある全小学校への配置のための人材の確保 3 ALTの活用と関連させた配置計画 (単位:円) 決算額の財源内訳 「単位:円) 次算額の財源内訳 「単位:円) ※算額の財源内訳	取	組	実	績	補助員9名を希望の なお、外国語活動に	あった は、年	29杉 間35日	とに配時間が	置し、1クラス当た ごが、残りの10時間	り年間				
業成果から、指導補助員の活用は効果的であると考えられることから、次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 1 担任と補助員とが適切に役割分担をし、協力して授業を進めていくことにより、より一層の指導計画の充実及び担任教師の指導力の向上が図られる。 2 配置希望のある全小学校への配置のための人材の確保 3 ALTの活用と関連させた配置計画 (単位:円) 予算額 決算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成			果	(1) 外国語に堪能な 関心を高めること (2) 担任と補助員が 動に意公的に取り 2 コミュニケーション 補助員の支援によ 3 担任の指導力の 外国語活動を指導	補が 語ま 力、 る員ででせの児 担	き デる 向 童 任 発	。 (タ スが こ 発 師	ト国語活動の授業が トレーションを行っ できた。 やコミュニケーショ 対し、指導補助員が	楽しいうことが適切	いと感 で、よ カを 補助	じる児童(りイメー める手法 を行い、	か割合…8 ジを膨ら として を 安心して	9.1%) ませ外国語活 効であった。 指導に当たる
予算額 決算額 決算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成果	に係	る 記	平価	業成果から、指導補助 ら、今後もより良い事業 1 担任と補助員とが適 画の充実及び担任教師 2 配置希望のある全小	の活 (の活) (を目) 切に役 の指導 学校へ	制は制力の配	効果的 て推進 か向を で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	りであると考えられ 性していく。 し、協力して授業? が図られる。	ること	から、	次のよ	うな課題で	を解決しなが
本事の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源											決算額	の財源内]訳	(単位:円)
4, 250, 000 2, 393, 600 2, 393, 600	予算	の執	衍物	犬況	予算額	Ħ	等	頂	国(県)支出金	地	方債		の他	一般財源
•					4, 250, 000		2,	393, (600					2, 393, 600

		r	_	_				
予	10 款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かなた の担い手をはぐくむ。	未来 まち 復	()	
算 科	2 項	小学校費	合計	第 1 節	「生きる力」を持つ - もたちを育成する	計	()	
目	1 目	学校管理費	画	(2)	児童・生徒の豊かな心と 確かな学力をはぐくむ	体、画	()	
	実施計画 載ページ	P17	中	事 業	小学校保健費			
事	業コード	002-001-002-00221	1	業名	学校医・薬剤師配置			
目的及	及び事業内容	学校保健安全法に基することにより、児童に係・学校医の配置・学校薬剤師の配置	づき、* 系る疾	各学校に学 病の早期系	校医等を配置し、 見に努めるととも	定期健診、 に予防指導	健康相談及び衛生 ∮の強化を図る。	点検等を実施す
取	組実積	診断の健診業務を実 ・委嘱した学校医の 内 科 医 眼 科 医 耳 鼻 科 医 歯 科 医	施 32 4 5 31 、 学 検施 別師のフ 20	<u>人人人人</u> 薬剤師を ション	(内科、眼科、耳鼻	「プール水!	質の検査、教室の明	月るさ、空気の
成	果	な育成や健康の保持 2. 学校内の環境衛生 … ることができた。	、増進の実態	が図られ	基準に示された学	学校環境の創		
成果	に係る評価	児童に対して的確な予学校医・学校医・学校医・学校医・学校・保護であり、今後も継続して	等相.	互の連携を	密にし、発達段階		建康教育を推進して	いくことが大切 (単位:円)
··-	0.44	予算額	ž	 快算額	-	決算	額の財源内訳	T
予算	の執行状況				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		30, 466, 000		29, 005, 6	432, 000			28, 573, 674

予	10 款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ		()	
算 科	2 項	小学校費	合計	第 1 節	「生きる力」を持つ もたちを育成する	子ど 興計	()	
目	1 目	学校管理費	画	(2)	児童・生徒の豊かな心 & 確かな学力をはぐくむ	上体、 画	()	
	₹施計画 載ページ	P17	中	事 業	小学校保健費			
事	業コード	002-001-002-00219	事	業名	健康診断・検査等	実施事業(小学	学校)	
目的及	なび事業内容		見に努る 施 実施	める。	健康診断や各種検査	きを行うことに、	より、児童の健康	をの保持増進を
取:	組実績	歯科健診 全学 結核検診 全学 2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色 有機炭素、鉄	学年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 第 8 8 8 8 8 8 8 8 8	度・臭気	項目 心臓病検診 尿検査 寄生虫卵検査 ・味、水素イオン 、年1回残留塩素及	農度、一般細菌		
成	果	各健康診断・検査を 努めた。 また、学校の水道水 維持が図られた。 1 定期健康診断 心臓病検診 2 飲料水水質検査		水としても 圭 7, : 1,		っ、水質検査を1		
成果	に係る評価	生活習慣の乱れによ てきており、今後も継 必要不可欠である。						
						>- #### -		(単位:円)
予 質	の執行状況	予算額	∌	學類		决算額 <i>0</i> ┃)財源内訳 T	
」" 昇	V → → M 1 1 / 1 / 1 / / / / / / / / / / / / / / / /				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		9, 787, 885		9, 409, 7	21, 000			9, 388, 730

予 算	10 款	教育費		中口中	個性と創造性豊かな	未来	,	`	
			総	第 2 章	の担い手をはぐくむ	まち 復	į ()	
科	2 項	小学校費	合計	第 1 節	「生きる力」を持つ もたちを育成する	子ど 興計	+ ()	
	1 目	学校管理費	画	(2)	児童・生徒の豊かな心と 確かな学力をはぐくむ	≐体、)	
	計画 ページ	P17	中	事 業	小学校保健費				
事業=	コード	002-001-002-00220	事	業名	就学時健康診断実	施事業			
目的及び	《事業内容		要な助言					により、健康キ	犬況を把握しつ
取組	実 績	1 児童の健康診断検査 内科健診、眼科健		鼻科健診	、歯科健診、視力	余査、聴 力	力検査を	実施した。	
		学校保健安全上、必要	要な助言	・指導を	行うことにより、	小学校等	への円	滑な就学が図り	られた。
成	果	1 就学時健康診断 就学予定児の健康上の			25年冬の5万半 レ阻 小	太深地又	- L :	主+_ 床床生	∊ •
成果に係	系る評価	就学予定児の健康上6 定児については、入学 して実施する必要がある	寺までに						か、今後も継続
									(単位:円)
	+ +	予算額	決	算額		決算	算額の則	才源内訳	
予算の報	執行状況				国(県)支出金	地方值	債	その他	一般財源
				3, 870, 7	•				

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
1 目 学校管理費	復旧・復興
掲載ページ	
指定避難所となる学校施設において太陽光発電システム等の整備を行い、非常時においる。 平成25年度 整備実績 学校施設の改修工事に併せて太陽光発電設備の整備を行った。 整備校 湊小学校、渡波小学校、向陽小学校、湊中学校 取 組 実 績 学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時の避難場所として重要なることから、本事業により防災機能の強化を図ることができた。	る電源を確保す
る。 日的及び事業内容 平成25年度 整備実績 学校施設の改修工事に併せて太陽光発電設備の整備を行った。 整備校 湊小学校、渡波小学校、向陽小学校、湊中学校 取 組 実 績 学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時の避難場所として重要なることがら、本事業により防災機能の強化を図ることができた。	る電源を確保す
整備校 湊小学校、渡波小学校、向陽小学校、湊中学校 取 組 実 績 学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時の避難場所として重要なることから、本事業により防災機能の強化を図ることができた。	
ることから、本事業により防災機能の強化を図ることができた。	
成果	役割を担ってい
学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民な公共施設であるとともに災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。 「公共施設における防災機能等の強化に関する基本方針」に基づき、太陽光発電シスし、防災機能の強化を推進する必要がある。	
決算額の財源内訳	(»(4 E)
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他	(単位:円)
109, 314, 059 98, 108, 540 96, 464, 908	(単位:円)

予	10	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊 の担い手をはく		復	()	
算 科	2	項	小学校費	合計	第 1 節	「生きる力」 どもたちを育	を持つ子 成する	興計	()	
目	2	目	教育振興費	画	(3)	充実した教育 環境をつくる		画	()	
	₹施計画 載ペーシ		P 22 P 23	中	事 業	小学校教育用	コンピュ-	-ター関係	系費	
事	業コート	1,5	002-001-003-00240 002-001-003-00242	事	業名	情報教育環境 電子黒板整備				
目的及	なび事業	内容	国際化、高度情報化、 市内小学校の教育用コ						環境を計画的に	修備する。
			小学校教育用コンピュ	∟ータ-	-整備状》	7				
			整備年度				整備内容			
						用コンピューク			子黒板 10分	
			H21			可北地区 5校 : 18生地区 3校 :			!区 5校: 10台 !区 3校: 6台	-
						可南地区 6校:			区 6校: 12台	1
l	4n -	Arte	H22			土鹿地区 4校:			区 4校: 8台	4
取:	組実	稹			ji ji	可北地区 1校:	7台	河北地	区 1校: 1台	1
			H 25		ħ	推勝地区 2校:	5台	雄勝地	·区 2校: 3台	
					7	比上地区 1校:	15台	北上地	区 1校: 1台	
成		果	・児童がITの活用方法れた。 ・情報社会に参画する態・各教科等においてデジ	態度がñ	育成され、 コンテン <u>*</u>	情報モラル教 シを活用し、分	(育の推進 かりやす)	が図られ、 い授業を:	た。 実現できた。	
成果	に係る言	平価	室に校内LANの設置) 画的に整備する。 ・電子黒板等の最新の I 員が使いやすく、児童に 討している。	を定さ C T t	めているが 後器の整値	が、石巻市の現 情については、	状に即して石巻市情報	た有効的 報教育推	な整備内容を考す 進委員会におい ⁻	察しながら、計 て、使用する教 去についても検
										(単位:円)
			予算額	ä	· 算額			決算額0	D財源内訳 T	
~ #	σ±+ /= -									
予算	の執行も	犬況				国(県)支出	出金 均	也方債	その他	一般財源

		10	款	教育費	40	第 2 章		生と創造性豊かな 旦い手をはぐくむ		,_	()		
予算		2	項	小学校費	総合計	第 1 1	ας Γ	主きる力」を持	つ子	復興	()		
科 目		_		*/- ** != @ #	画	-		もたちを育成す 実した教育を行		計 画		,		
-	2 +/r =			教育振興費		(3)		竟を整える			()		
	€施言 載ペ			P21	中	事 業	小!	学校教育振興援	助費					
事	業コ	ı —	ド	002-001-003-00222	-	業名		学援助・特別支						
目的及	みび ∄	事業	 内容	経済的な事情により 就学する児童の保護者 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学	に対し	就学奨瓦								
				1 就学援助費										
				助 成 学月 校夕 校夕 通气 新 <i>刀</i>	品費 ·活動費 ·活動費		し)	8,	638, 9 , 043, 7 313, 4	75 円 58 円 14 円 80 円	%)			
				給負					252, 7					
				医报					978, 3					
						計		43.	, 133, 4	14 円				
IIν :	組	実	結	2 特別支援教育就学	き励費									
42	ип	~	rise.	認知 助成 学月	2者数 1 日品費	09 名		童数 7,458	303, 8		%)			
						(泊無し (泊付る				83 円 57 円				
				通当					555, 1					
					学用品					50円				
				修 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	旅行費			1	/5, 2 128, 4	43 円				
					学習交	通費		''		67 円				
					ばの教				163, 8	74 円				
				<u> </u>		計		2,	359, 0	05 円				
成			果	経済的な事情により る児童の保護者に対し を済めに就学困難な	就学奨	励費の助	协成を	行うことにより	、経済	所的な1	負担を	₽軽減	できた。	,
成果	に係	₹ る ì	評価	児童の就学支援が図ら								1431~	7 (144, 194	
				Г									_	(単位:円)
				文管苑	5-	h質姑				決算額	の財	源内語	訳	
予算	の執	行	伏況	予算額	ž	 東算額		国(県)支出金	地	方債		その	の他	一般財源
				47, 823, 000		45, 492	2, 419	1, 131, 653						44, 360, 766

1	10	款	教育費		第2章個	性と創造性豊かな	未来	()			
予算	10	永	教 月頁	総合	0)	担い手をはぐくも	1沒	()			
科目	2	項	小学校費	計画	男 リ即 ど	もたちを育成す	る 計	()			
			教育振興費	Ш		実した教育を行 環境をつくる	える 一	()			
	実施計画 載ペー		P 22	中	事 業 小	、学校図書整備 事	業費				
事	業コー	۲	002-001-003-00239			校図書整備事業					
目的及	及び事業	美内容	全国的な傾向である/ 育における言語力の海査 年度から平成28年度に している。本市も学校表 とにより豊かな人格形別 校図書を整備するもの。	をに資っ での5年 改育の「 找、基础	するためには 間を新たな 中で、学校図 楚的な言語力	は、学校図書館の 「学校図書館図 図書を積極的に沿 立を育む等、学習	D充実が必要で 書整備5カ年計 5用し、児童生 習効果の向上を	あるとの認識に 画」として策定し 徒の読書活動を一図るために、市口	基づき、平成24 し、整備を推進 一層推進するこ 内小中学校の学		
			市内全ての小学校にま 充足率の学校に予定。 図書の充実を図った。 前年度に比べ寄贈数に く小学校図書の整備冊	重点配? は減っ?	分したことに	こよる購入のほか	い、厚意での図	書の寄附による	整備により学校		
取	組実	績	H22		H 23		H24	Н	25		
			10, 00	9∰		32, 143 Ⅲ	17, 2	76 Ⅲ	₹ 24, 512 🖽		
			※ 寄贈含む。		W 33 to 51.						
学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。 平成25年度は補正を含めた予算措置の増で購入冊数が大幅に増えたことにより、充足率も上内容の充実が図られた。											
						冒ぐ購入冊剱かえ	(神田に増えたこ		料も上かり蔵書		
			内容の充実が図られた。		Н23		H24	н	※も上がり蔵書 25		
成		果	内容の充実が図られた。	¥>			н24	H			
成		果	内容の充実が図られた。 <小学校図書の充足 H22 70.8 ※ 平成25年度末での3 ※ 充足率は市内小学を	MAN A TEXT	H23 60%以上達成 句である。	76. 59% 龙校 37校	H24 75.	65%	25 86. 35%		
	:に係る		内容の充実が図られた。 <小学校図書の充足率 H22 70.8 ※ 平成25年度末での3	本 > 4% 本で なの 平 が	H 23 50%以上達成 対である。 内に活用し、る	76.59%	H24 75.	65%	25 86.35% 86.35% こ沿った図書が 図書整備はその		
	に係る		内容の充実が図られた。 <小学校図書の充足型 H22 70.8 ※ 平成25年度末での3 ※ 充足率は市内小学校図書を学習活動に 整備充実され、いつでも	本 > 4% 本で なの 平 が	H 23 50%以上達成 対である。 内に活用し、る	76.59%	H24 75. たを図るには、 きえることが必	児童の課題解決に 要である。学校に	25 86.35% こ沿った図書が		
成果		評価	内容の充実が図られた。 <小学校図書の充足型 H22 70.8 ※ 平成25年度末での3 ※ 充足率は市内小学校図書を学習活動に 整備充実され、いつでも	至 4% を	H 23 50%以上達成 対である。 内に活用し、る	76.59%	H24 75. たを図るには、 きえることが必	65%	25 86.35% 86.35% ご沿った図書が 図書整備はその		
成果	に係るの執行	評価	内容の充実が図られた。 <小学校図書の充足型 H22 70.8 ※ 平成25年度末での3 ※ 充足率は市内小学校 学校図書を学習活動は 整備充実され、いている。 基本となる事業であり、	至 4% を	H23 60%以上達成 対である。 的に活用しる とも読書環境	76.59%	H24 75. たを図るには、 きえることが必	児童の課題解決に 要である。学校に	25 86.35% 86.35% ご沿った図書が 図書整備はその		

予	10	款	教育費	総	第	章		復	(4)	未来のため り、人・新	に伝統・文化を守 たな産業を育てる			
算 科	2 3	項	小学校費 中学校費	合計	第	節		興計	(1)	未来の人	、を育てる			
目	3	目	学校建設費	画	()		画	(1)		・社会教育施 [旧・復興			
美 掲i	- 医施計區 載ペー	画 ジ	P172	中	事	業	二俣小学校耐震補強事	俣小学校耐震補強事業費 ほか10事業						
事	業コー	ド	004-101-001-00479	事	業	名	学校施設耐震補強事業	(小学村	交、中学	校)				
	なび事業 組 実		模な地震により倒壊又 震化整備計画」に基づ	はき を 校屋校屋屋校校学校屋	する強 場 助 動場 場 場 湯 () () () () () () () () () (危険性 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	とし、H16〜H19年度 があるとされる I S値 実施する。							
成		果	また、学校施設は災 安心と安全を提供する	害発生事	きた。	避難場	童・生徒・園児が安心所として重要な役割を	担って	いるが、	本事業に	より地域住民に			
学校施設は、児童・生徒・園児が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担ている。今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に実施成果に係る評価 成果に係る評価 に寄与した。										要な役割を担っ計画的に実施し				
								決算額	頃の財源	内訳	(+ 2 · 1 1)			
予算の	の執行	状況	予算額	ä	そ算名	Ą	国(県)支出金	地方債	-	その他	一般財源			
1														

予算科目 10 款 教育費 総合計 の担い手をはぐくむまち の担い手をはぐくむまち (クロ・リー・ア・リー・ア・リー・ア・リー・ア・リー・ア・リー・ア・リー・ア・リー・	5・改築等の整備
計画 第一期 どもたちを育成する 計画 3 目 学校建設費 計画 実施計画 掲載ページ P24 事業コード 002-001-003-00252 事業名 株生小学校プール改築事業 【目的】 老朽化の著しい学校プールについて、学習活動に支障をきたさないよう改修を図る。 [事業内容] 改修工事(プール用修繕含む。) 目的及び事業内容 プール用トイレ修繕: 完了プール改築工事の着手	・改築等の整備
3 学校建設費	・改築等の整備
掲載ページ	・改築等の整備
【目的】 老朽化の著しい学校ブールについて、学習活動に支障をきたさないよう改修を図る。 【事業内容】 改修工事(プール用修繕含む。) プール用トイレ修繕:完了プール改築工事の着手	δ・改築等の整備
を図る。 【事業内容】 改修工事(プール用修繕含む。) 目的及び事業内容	₹・改築等の整備
プール改築工事の着手	
プール用トイレの修繕は年度内に完了したが、プール本体の改築事業については既在に建設予定地の地盤が軟弱であると判明、地盤改良方法等の協議及び計画変更に時間をの施工に期間を要したため、平成26年度に繰越することとなった。 成 果	要し、また、そ
改築事業は繰越しとなったが、おおむね平成26年度供用開始が可能となり、当初の目た。 成果に係る評価	(単位:円)
	(単1211円)
・ 決算額の財源内訳 ・ 予算額 ・ 決算額 ・	
■ 予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他	一般財源
147, 582, 713 67, 564, 847 25, 149, 000 28, 400, 000	14, 015, 847

算	予		10	宗	欠	教育費	総	第 2 章		性と創造性豊かな 担い手をはぐくむ		復	()			
学校建設費	算 科		2	IJ	Ą	小学校費	合計	第 1 額				興	()			
お観ページ	目		3	E	1	学校建設費	画	(3)	充環	実した教育を行 境をつくる	える	画	()			
本校の空気調和設備機器は、昭和58、59年度にかけて健房機3基を設置したものである。 老村化が強み、メンテナンスの範囲において維持していくことが認識になっていることから、良好な教育環境と図るため、平成22、23年度に機能調査、平成25年度に破療機合業・平成26年度に暖房機の機能 個日工事を実施するもの。 山下小学校空気調和設備機器等機能復日事業設計業務を実施した。 成果 様 東施設計業務が完了した。 成果に係る評価 水果に係る評価 本校の空気調和設備機器等機能復日事業設計業務を実施した。 成果に係る評価 本検討な場合である。 本校の空気調和設備機器等機能復日事業設計業務を実施した。 本検討な場合である。 本校26年度に機能復旧工事に着手することが可能となり、事業目的の達成に寄与した。 (単位:円 決算額の財源内訳 本検算額の財源内訳 本検算額の財源内訳 「単位:円 大算額の財源内訳 「単位:円 大算額の財源内訳						P24	中	事 業	Щ	山下小学校空気調和設備機器等機能復旧事業							
表行化が進み、メンテナンスの範囲において維持していくことが困難になっていることから、良好な 教育環境を図るため、平成202、23年度に機能調査、平成25年度に改修設計、平成26年度に暖房機の機能 国	事	業	-	- F		002-001-003-00248	事	業 名	Щ	下小学校空気調	和設備	機器等	機能	ŧ復Ⅱ	事業		
取 組 実 額 実施設計業務が完了した。 - 実施設計が完了したことにより、平成26年度に機能復旧工事に着手することが可能となり、事業目的の達成に寄与した。 - 成果に係る評価 - 本の執行状況 - 本の他 - 経財源 - 「国(県)支出金 地方債 その他 - 経財源	目的及	及 ひ	事	業内	容	老朽化が進み、メンラ教育環境を図るため、3	テナン: P成22、	スの範囲	まコに	いて維持してい	くこと	が困難	隹にた	なって	ているこ	とから、良好な	
成果に係る評価 実施設計が完了したことにより、平成26年度に機能復旧工事に着手することが可能となり、事業目的の達成に寄与した。	取	組	Did.		績	山下小学校空気調和	役備機	器等機能	復旧	3事業設計業務を	実施し	teo					
成果に係る評価 予算の執行状況 予算額 決算額の財源内訳 予算の執行状況 事算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成			果				より、平	₹成20	6年度に機能復旧	工事に	着手で	۲۵:	<u> </u>	が可能と	なり、事業目的	
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成果	:1=1	係る	5評(洒		_		- 水乙)+	上争 〜	眉于 ?	100	_ < 1	いり 能と		
予算の執行状況 予算額 本算額 本算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源											;	決算額	iの財	才源内]訳	(単位:円)	
3, 300, 000 2, 205, 000 1, 428, 000 700, 000 77, 00	予算	の	執行	状	況	予算額	ä	學額		国(県)支出金			T			一般財源	
[3, 300, 000		2, 205	, 000	1, 428, 000		700, 0	00			77, 000	

予	10	款	教育費	総	第	章			復	(4)	未来のたり、人・	めに伝統・文化を守 新たな産業を育てる
予 算 科	2	項	小学校費	合計	第	節			興計	(1)	未来の	人を育てる
目	4	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)		育・社会教育施 復旧・復興
	₹施計値 載ペー		P 171	中	事	業	須江小学校校舎増勢	築事業	費			
事	業コー	۴	001-101-001-00474	事	業	名	須江小学校校舎増勢	築事業				
目的及	なび事業	《内容	【目的】 児童数増加I 【事業内容】 増築工圖					室の増	築工	事を行う	•	
取:	組実	績	増築工事の実施(構造	±∶R	C 、	二階列	きて、6教室 683㎡))				
成		果	増築工事の年度内完成で施工せざるを得なかっ	o t= t= 0	め、糸	吉果的	的に年度内の完成が	困難と	なり	繰り越す	こととな	こった。
成果	に係る	評価	事業は繰越しとなっ <i>†</i> 込みである。	さが、	おおむ	∵ね∓	☑成26年度完成予定	であり	、教!	室数の不	足を補う	
			Π						決 笛 ø	質の財源に	力記	(単位:円)
予算	の執行	状況	予算額	ž	央算額	Ę	国(県)支出金		次异® —— 方債		へ訳 その他	一般財源
			235, 414, 650		97, 8	802, 7			900, (C 07 IB	3, 581, 703
												1

予	10	款	教育費	総	第	章		復	(4)	未来のために伝統・文化を守 り、人・新たな産業を育てる	
算 科	2	項	小学校費	合計	第	節		興計	(1)	未来の人を育てる	
目	4	目	東日本大震災関係費	画	()		圃	(1)	学校教育・社会教育施 設等の復旧・復興	
実施計画 掲載ページ			P173	中	事	業	被災児童通学支援事業費	} :			
事業コード		۲	004-101-001-00480	事	業	名	通学支援事業 (小学校)				
東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び									必要となった児童及び学		

区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対し、安全・安心に通学できる環境を提 供することを目的とし、スクールバスの運行による通学支援や公共交通機関の利用に係る負担額への助 成を実施する。

目的及び事業内容

- 代替え校スクールバス運行
- ・仮設住宅スクールバス運行
- ・通学路安全対策スクールタクシー運行
- 通学費補助

東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び学 区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対し、スクールバスの運行による通学支 援を実施した。

また、通学路の危険個所安全対策として対象となる万石浦祝田地区の児童に対し、タクシーの運行に よる通学支援を実施した。

(支援実績)

区分	学校数	対象人数	金額
代替え校スクールバス	7校	533人	150, 250, 570 円
仮設住宅スクールバス	18校	201人	76, 727, 305 円
通学路安全対策タクシー	1校	8人	994, 990 円
スクールバス関連経費等※	_	_	8, 438, 202 円
計	_	_	236, 411, 067 円

取組実績

※稲井小・中学校周辺通学路交通誘導警備業務、仮設トイレ設置、駐車場修繕経費等

(支援状況)

学校名	状 況
湊小学校	代替え校(住吉中学校)へスクールバス運行
湊第二小学校	仮設校舎(開北小学校)へスクールバス運行
渡波小学校	仮設校舎(稲井中学校)へスクールバス運行
稲井小学校	南境仮設住宅等入居者の稲井小学校への転入学によりスクールバスを追加
大川小学校	仮設校舎(二俣小学校)等へスクールバス運行
雄勝小学校	仮設校舎(宮城県石巻北高校飯野川校)へスクールタクシー運行
北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行
万石浦小学校	通学路安全対策(祝田地区)のためスクールタクシー運行

東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び学 区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対しスクールバスの運行による通学支援 の他、通学路の危険個所安全対策として対象となる児童に対しスクールタクシーの運行による通学支援 果 | を実施したことにより、安全・安心に通学できる環境を提供することができた。

被災した学校の学区から代替え校又は仮設校舎へ通学する児童及び学区外の仮設住宅等に入居し指定 校まで遠距離通学となる児童に対し、通学支援と通学路の安全対策が図られ、安全・安心に通学するこ とができた。

成果に係る評価 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況を踏まえながら事業を継続する必要がある。

(単位:円)

	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
予算の執行状況	了异缺	次异银	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	244, 080, 000 236, 4		221, 093, 265		·	15, 317, 802			

予		10	款	教育費	総	第	章				復	(4)	未来のため り、人・新	に伝統・文化を守 たな産業を育てる
予 算 科		2	項	小学校費	合計	第	節				興計	(1)	未来の人	、を育てる
目		4	目	東日本大震災関係費	画	()				画	(1)	学校教育 設等の復	・社会教育施 『旧・復興
		計画		P173	中	事	業	東日	卜大震災小学	校教育	振興措	援助費		
事	業口	ı — I	*/	004-101-001-00481		業			見童就学支援					
目的及	ζび∃	事業	内容	東日本大震災によりり、児童の就学の機会 (支給対象者) ・住居の被害状況 ・世帯収入が著し	を確保すが半壊り	する。 以上σ	D判定			護者に対	対し、	就学費	の助成を行	iうことによ
				1 就学援助費					-1-1					
					:者数 2, 品費	360	名 /	児童		名(), 173, 29		-		
					·活動費	(泊纬	無し)			3, 739, 8		4		
				_	活動費					996, 6				
				通学		#				19, 60		4		
					学用品 旅行費	質				5, 706, 30 7, 272, 82				
取:	組	実	績	給食						3, 803, 7				
				医療	費					591, 1]		
						計			148	3, 303, 40	66 円	l		
成			果	東日本大震災によりの就学の機会を確保す				難とな	くった児童に	対し就常	学援助	力費を支	給すること	により、児童
				国の被災児童生徒就					5用し事業を	実施しっ	ており	J、被災	した児童へ	・の就学支援を
成果	に係	る言	平価	行うため、今後も継続 なお、同制度は現時 支給基準について、本	点で平原	龙26年	E度ま	でとさ	れており、 た見直しが	その後6 必要と ^が	の事業 なる。	美実施に	当たっては	、認定基準や
														(単位:円)
				予算額		夬 算額	ā		決算額の財源内訳					
予算	の執	行物	犬況	广并识		八开旬	R	Ξ](県)支出金	地	方債		その他	一般財源
				149, 817, 000		148,	303,	466	148, 303, 466					

遠距離通学生徒の保護者には交通費の補助を行った。											
算	予	10	款	教育費	絵	第 2 章			復	()	
日	算	3	項	中学校費	合	第 1 節			興	()	
#		1	目	学校管理費	画	(3)	充実した教育を行		画	()	
市立中学校の競廃合等により遠距離過季の対象となる生徒に対し、公共交通機関やスクールバス等のようの一ルバス等の選手を関するとともに、公共交通機関をスクールバス等の選手である。 - スクールバス等の選手では、「保護・大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				P21	中	事 業	中学校管理費(教育総務	課)	<u> </u>	
活用を促すことにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 遠距離通学の対象生徒に係るスクールバス等及びスクールボートを運行するとともに、公共交通機関 を利用する返距離通学生徒の保護者には交通費の補助を行った。 1 スクールバス等の運行 区分 年度 学校数 対象人数 金額 スクールバス等 H24 5校 73人 32,814,560 円 H25 4校 60人 31,492,220 円 H25 1校 1人 3,790 円 Wスクールバス等対象校 (H25) 1校 1人 2,736,972 円 Wスクールバス等対象校 (H25) 1校 1人 2,736,972 円 Wスクールバス等対象校 (H25) 数浜中学校、万石浦中学校、北上中学校、牡鹿中学校 2 遠距離通学費補助金 H24 2校 4人 286.848 円 H25 2校 3人 306,734 円 W遠距離通学精助金対象校 (H25) 数浜中学校、桃生中学校 4年 2校 4人 286.848 円 H25 2校 3人 306,734 円 W遠距離通学精助金対象校 (H25) 数浜中学校、桃生中学校 スクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校競廃合などにより遠距離通学となった生徒に係る、参下校中の安全・安心の確保が図られた。 成果に係る評価 本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「本語・「	事	業コー	ド	002-001-003-00217	事	業名	遠距離通学支援	事業(中	学校)		
を利用する遠距離通学生徒の保護者には交通費の補助を行った。 1 スクールバス等の運行	目的及	なび事業	内容	活用を促すことにより、 ・スクールバス等の	安全7 重 行	かつ安心し					クールバス等の
区分 年度 学校数 対象人数 金額 スクールバス等 H24 5校 73人 32,814,560 円 A2 A2 A校 60人 31,492,220 円 A2 A校 60人 31,492,220 円 A2 A校 60人 31,492,220 円 A2 AV AV AV AV AV AV AV				を利用する遠距離通学生	上徒の化				・トを選	重行するとともに.	、公共交通機関
双クールバス等 円24 5校 73人 32、814、550 円 73人 73人 32、814、550 円 74 125 4校 60人 31、492、220 円 74 125 1校 1人 74 1人 75 1 1人 75 1 1校 1人 75 1 1人 75 1 1校 1人 75 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					仃						
双クールパス等 H25 4校 60人 31.492,220 円 スクールパス等内操校 H25 1校 1人 3,729,600 円 1人 2,736,972 円 1校 1人 2,736,972 円 1校 1人 2,736,972 円 1人 2,736,972 円 1校 1人 2,736,972 円 1人 2,7				区分		年度	学校数	対象人	.数		
取 組 実 額				フカール バラケ		H 24	5校		73人	32	2,814,560 円
双クールボート 124 1校 1人 3,729,600 円 125 1校 1人 2,736,972 円 ※スクールバス等対象校 (H25) 荻浜中学校、万石浦中学校、北上中学校、社能中学校 2				ヘクールハス寺		H 25	4校		60人	3.	, 492, 220 円
取 組 実 績				フカールボート		H 24	1校		1 J		
取 組 実 様											
取 組 実 額					5 1 六 / 1	1120	ITX		1/		., 730, 972
区分 年度 学校数 対象人数 金額 通距離通学費補助金 H24 2校 4人 286,848 円 H25 2校 3人 306,734 円 ※適距離通学補助金対象校 (H25) 2校 3人 306,734 円 ※適距離通学補助金対象校 (H25) 校浜中学校 株生中学校 スクールパス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校航廃合などにより適距離通学となった生徒に係る、登下校中の安全・安心の確保が図られた。	取	組実	績				中学校、牡鹿中	学校			
区分 年度 学校数 対象人数 金額 通距離通学費補助金 H24 2校 4人 286,848 円 H25 2校 3人 306,734 円 ※適距離通学補助金対象校 (H25) 2校 3人 306,734 円 ※適距離通学補助金対象校 (H25) 校浜中学校 株生中学校 スクールパス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校航廃合などにより適距離通学となった生徒に係る、登下校中の安全・安心の確保が図られた。				2 遠距離通学費補助金							
選距離通学費補助金 H24 2校 4人 286,848 円 H25 2校 3人 306,734 円 ※遠距離通学補助金対象校 (H25) 荻浜中学校、株生中学校 スクールパス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校航廃合などにより遠距離通学となった生徒に係る、登下校中の安全・安心の確保が図られた。						年 度	学校数	公多人	数	全類	
選距離通学質補助金				E.7				ハかハ		3E 100	
※遠距離通学補助金対象校 (H25)				遠距離通学費補助金							
							2校		3人		306, /34 円
遠距離通学生徒の安全・安心を図るため継続が求められる事業であることから、地域の実情に配慮しながら引き続き適正な運行を継続する必要がある。 成果に係る評価				スクールバス等の運行	うや公:	共交通機関			校統身	を合などにより遠	距離通学となっ
成果に係る評価 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 決算額 決算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成		果								
予算の執行状況 予算額 決算額 (果)支出金 地方債 その他 一般財源	成果(に係る	評価					れる事業	である	ることから、地域	の実情に配慮し
予算の執行状況 予算額 決算額 (果)支出金 地方債 その他 一般財源											
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源											(単位:円)
予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源				又 ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′	24	h 答 姑			決算額	の財源内訳	
35, 466, 569 34, 535, 926 23, 015, 814 11, 520, 112	予算(の執行	伏況	丁 昇観	<i>)</i>	5年祖	国(県)支出金	地	方債	その他	一般財源
				35, 466, 569		34, 535, 9	23, 015, 81	4			11, 520, 112

1 F						,					
予	10 款	教育費	第2章	個性と創造性豊かなま の担い手をはぐくむ。		()					
算科	3 項	中学校費	合 第1節	「生きる力」を持つき もたちを育成する	計	()					
	1 目	学校管理費	(2)	児童・生徒の豊かな心と 確かな学力をはぐくむ	体、画	()					
	施計画 战ページ	P17	中事業	中学校保健費							
事業	業コード	002-001-002-00221	事 業 名	学校医・薬剤師配置							
目的及	び事業内容	学校保健安全法に基づることにより、生徒に信・学校医の配置・学校薬剤師の配置					点検等を実施す				
取糸	组 実 績	どの健診業務を実施 ・委嘱した学校医の内 科 医 眼 科 医 耳 鼻 科 医 菌 科 医 営 科 医 2 学校薬剤師の配置	人数 19 人 5 人 5 人 21 人 、学校薬剤師を を実施	(内科、眼科、耳鼻 の で で の で の で の で の で の で の の の の の の							
成	果	な育成や健康の保持 2 学校内の環境衛生 ことができた。	、増進が図られの実態を把握し	、基準に示された学	校環境の維持						
成果に	に係る評価	生徒に対して的確な3 学校医・学校・保護者 であり、今後も継続して	等相互の連携を	を密にし、発達段階		教育を推進してい	いくことが大切 (単位:円)				
		マ 体 Au	th fair day		決算額の財源内訳						
予算 <i>σ</i>	の執行状況	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
		16, 304, 000	15, 539,	778 310, 000			15, 229, 778				

予報目 10 放 教育費 数 名 中学校費 計 目 生きる力」を持っています。 の担い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力配い手によくでもまる 力能を介置 中央 大阪 使用 大阪 企業 大													
# 日 3 項 中学校費 合	予	10	款	教育費	総	第	2 章			復	()		
日 学校管理費	算 科	3	項	中学校費	合 計	第	1 節		子ど	興	()		
# 本 * 中子化味理與 事業 - 「	目	1	目	学校管理費	画	(2)		と体、	画	()		
学校保健安全法に基づき、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を の				P17	中	事	業	中学校保健費					
図り、病気等の早期発見に努める。 ・完料健康診断の実施 - ***********************************	事	業コー	F	002-001-002-00219	事	業	名	健康診断・検査等	実施事	業(中学	学校)		
項目 学年 内科健診 全学年 日裏科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日本 日東 日本 日東 日本 日東 日本 日東 日本 日本	目的及	ひ事業	内容	図り、病気等の早期発 ・定期健康診断の実	見に努る 施			康診断や各種検査	€を行う	- کات	より、	生徒の健原	東の保持増進を
項目 学年 内科健診 全学年 日裏科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日東科健診 1年生 日本 日東 日本 日東 日本 日東 日本 日東 日本 日本				1 健康診断検査項目及	び対象	学年							
四科健診 全学年 限科健診 1年生 原検査 全学年 原検査 全学年 原検査 全学年 原検査 全学年 技術技術診 全学年 技術技術診 全学年 技術技術診 全学年 技術技術診 全学年 技術技術診 全学年 技術技術診 全学年 技術技術 全学年 技術技術 全学年 技術技術 全学年 技術技術 全学年 技術技術 全の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。 全健康診断・検査を行い、生徒に係る病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に 学校の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。 定期健康診断 中学生 4,124人 心臓病検診 1年生 1,310人 2 飲料水水質検査 中学校 19校 19が							_	項目		学年			
取 組 実 積 1年生					• •		-			, -	-		
取 組 実 積 2 飲料水水質検査項目 遊血・脂質検査 2年生							-						
歯科健診 全学年							-				-		
軽核検診 全学年 2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。 各健康診断・検査を行い、生徒に係る病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に							+	Am wake					
取 組 実 積 2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。 - 各健康診断・検査を行い、生徒に係る病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に							\dashv						
	取	組実	績	2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色 有機炭素、鉄 学校の上水道を飲	 度・濁 (料水と	する	ため	、年1回残留塩素及	ひ大腸	菌などの	の水質	検査を行っ	った。
また、学校の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。 1 定期健康診断 中学生 4,124人 心臓病検診 1年生 1,310人 2 飲料水水質検査 中学校 19校 生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、子供を取り巻く健康問題は多様化してきており、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが必要不可欠である。 成果に係る評価 ・					1 T U', 5	土(疋)	-1余 6) 柄丸の早期充見、	平期 石	僚、生)	古首惧	.の以書を1	正し健康官 生に
 維持が図られた。 定期健康診断 中学生 4,124人 心臓病検診 1年生 1,310人 2 飲料水水質検査 中学校 19校 生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、子供を取り巻く健康問題は多様化してきており、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが必要不可欠である。 成果に係る評価 予算額 決算額の財源内訳 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源					を飲料え	水とし	しても	利用することから	、水質	検査を行	行うこ	とで、安全	全な水質環境の
成果 2 飲料水水質検査 中学校 19校 成果に係る評価 生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、子供を取り巻く健康問題は多様化してきており、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが必要不可欠である。 で成果に係る評価 (単位:円) 予算額 決算額の財源内訳 予算額 決算額の財源内訳 事項の執行状況 下算額 決算額の財源内訳 事項執行状況 下算額 決算額の財源内訳 事項執行状況 本の執行状況								.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	–	_	2 0.17.20.11.20.11
成果 2 飲料水水質検査 中学校 19校 成果に係る評価 生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、子供を取り巻く健康問題は多様化してきており、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが必要不可欠である。 で成果に係る評価 (単位:円) 予算額 決算額の財源内訳 予算額 決算額の財源内訳 事項の執行状況 下算額 決算額の財源内訳 事項執行状況 下算額 決算額の財源内訳 事項執行状況 本の執行状況				1 中期海底於此	-		_	4 104 1					
成 果 2 飲料水水質検査 中学校 19校 (単位:円) 大算額の執行状況 予算額 決算額 (単位:円) 大算額の財源内訳 (単位:円) 大り、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが (単位:円) 大りの教育が、 (単位:円)						-							
成 果				10、加坡7内1天日夕		+-		1,310人					
大学の執行状況 予算額 決算額 大学額 次算額の財源内訳 予算の執行状況 予算額 決算額 予算額 決算額 本の他 一般財源	成		果	2 飲料水水質検査	4	学材	ξ	19校					
大学の執行状況 予算額 決算額 大学額 次算額の財源内訳 予算の執行状況 予算額 決算額 予算額 決算額 本の他 一般財源													
大学の執行状況 予算額 決算額 大学額 次算額の財源内訳 予算の執行状況 予算額 決算額 予算額 決算額 本の他 一般財源													
大学の執行状況 予算額 決算額 大学額 次算額の財源内訳 予算の執行状況 予算額 決算額 予算額 決算額 本の他 一般財源													
大学の執行状況 予算額 決算額 大学額 次算額の財源内訳 予算の執行状況 予算額 決算額 予算額 決算額 本の他 一般財源				 生活習慣の乱れに上	る肥満の	の増り	Πや¢	- 活習慣病の低年齢	合化など	. 子世:	を取り	巻く健康	問題は多様化 I
必要不可欠である。 予算の執行状況 予算額 決算額の財源内訳 予算額 決算額 事項の執行状況 予算額 決算額 事項の執行状況 本の執行状況 事項の執行状況 本の執行状況 事項報 本の執行状況 事項報 本の執行状況													
・													= =
・													
予算の執行状況 決算額 決算額 事項の執行状況 本の他 一般財源	成果	に係る	評価										
予算の執行状況 決算額 決算額 事項の執行状況 本の他 一般財源													
予算の執行状況 決算額 決算額 事項の執行状況 本の他 一般財源													
予算の執行状況 決算額 決算額 事項の執行状況 本の他 一般財源													
予算の執行状況 決算額 決算額 事項の執行状況 本の他 一般財源													(単位:円)
予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源									ž	夬算額 <i>0</i>)財源	内訳	
6, 813, 616 6, 311, 635 24, 000 6, 287, 635	予算	の執行	伏況	予算額	Ħ	除算	Ą	国(県)支出金	地	 方債		その他	一般財源
				6, 813, 616		6,	311, (35 24, 000					6, 287, 635
									<u> </u>				

予							
Art-	10 款	教育費	第2章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	^{まち} 復 _	()	
算 科	3 項	中学校費	合 第 1 節	「生きる力」を持 どもたちを育成す	る 計	()	
	2 目	教育振興費	画 (3)	充実した教育を行 環境をつくる	える 画	()	
	施計画 載ページ	P22 P23	中事業	中学校教育用コン	ピューター関係	系費	
事第	業コード	002-001-003-00240 002-001-003-00242	事 業 名	情報教育環境整備 電子黒板整備事業			
目的及	び事業内容	国際化、高度情報化、 市内中学校の教育用:				環境を計画的に	整備する。
		中学校教育用コンピュ	ューター整備状況	2			
		整備年度		整備	内容		
				コンピューター	電子		
		H21		地区3校: 90台			
				地区1校: 42台 地区2校: 90台	桃生地区 河南地区		
l ,	4*	H 22		地区1校: 44台			
取糸	祖実績	H 24	石巻	地区6校: 293台	石巻地区	6校: 24台	
			_	地区3校: 118台			
		H 25		地区2校: 20台			
		※ 亚は21年度に21		地区1校: 38台	北上地区	1校: 2台	
		※ 平成21年度についる※ 平成23年度についる		「対泉争未で美旭 [新したリース料金	*等の支払いの2	74	
		ス 「 以20	, CISC (Military	TATOL 7 NATE	400人1000	77-0	
		・生徒がITの活用方法					
成	果	れた。 ・情報社会に参画する意・各教科等においてデジ)推進が図られ		
成	果	・情報社会に参画する類	ジタルコンテン ツ	vを活用し、分かり)推進が図られ。 やすい授業を:	実現できた。 3.6人に1台、普:	通教室・特別教
	果のほうでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・情報社会に参画する館・各教科等においてデジ	ピューターについ ピューターについ を定めているか I C T 機器の整備	では、文科省の整 では、文科省の整 で、石巻市の現状に まについては、石巻	が選挙を が図られ。 が図られ。 がですい授業を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実現できた。 3.6人に1台、 な整備内容を考: 進委員会におい	通教室・特別教 変がながら、 で、使用する教
		・情報社会に参画するだが、各教科等においてデジャー学校内においてデジャーでで、日本の教育のの教育のの教育のの表質を関する。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。	ピューターについ ピューターについ を定めているか I C T 機器の整備	では、文科省の整 では、文科省の整 で、石巻市の現状に まについては、石巻	が選挙を が図られ。 が図られ。 がですい授業を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実現できた。 3.6人に1台、 な整備内容を考: 進委員会におい	通教室・特別教 をがら、 で、使用する教
成果に	こ係る評価	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ピューターについ ピューターについ を定めているか I C T 機器の整備	では、文科省の整 では、文科省の整 で、石巻市の現状に まについては、石巻	推進が図られ。 ・	実現できた。 3.6人に1台、 な整備内容を考: 進委員会におい	通教室・特別教 察しながら、計 て、使用する教 用方法について
成果に		・情報社会に参画するだが、各教科等においてデジャー学校内においてデジャーでで、日本の教育のの教育のの教育のの表質を関する。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。最初である。	ピューターについ を定めているか ICT機器の整修 主徒にわかりやす	では、文科省の整 では、文科省の整 で、石巻市の現状に まについては、石巻	推進が図られ。 ・	実現できた。 3. 6人に1台容を 整備内容を を整備会におい するとともに運	通教室・特別教 察しながら、計 て、使用する教 用方法について

		10	款	教育費			第 2 章	個性	と創造性豊かな	未来		()			
予算					総合		の担	い手をはぐくむ		復興						
科目		3	項	中学校費		計画	第 1 節	ども	たちを育成す	る	計画	()			
1		2	目	教育振興費			(3)		した教育を行 きを整える	える	П	()			
	E施記載ペ		,	P21		中	事 業	中学	校教育振興援	助費						
事	業コ	- H	*	002-001-003-0		-	業名		援助・特別支			-	·			
目的及	及び▮	事業	内容	経済的な事情に 就学する生徒のの ・就学援助費の ・特別支援教育	保護者に)助成	対し記	就学奨励图									
				1 就学援助費												
							19 名 /	生征								
				助成	学用品		/ *		10	, 831, 7						
							(泊無し) (泊付き)		+	230, 2 590, 0						
					通学		(אםויו פי			390, 0	0円					
						学用品	費		3	, 526, 6						
						を行費				, 101, 5						
					給食費				22	, 046, 3						
					医療費	ŧ			1	850, 4						
							計		48	, 177, 0	25 円					
Ħ∇	組	宔	結	2 特別支援教育	就学奨	励費										
7^	447	^	434	- 14772			52 名 /	生征	走数 4,128	名(1.26%)					
				助成		学用品費			Ī	260, 4						
							(泊無し)				22 円					
							(泊付き))	17, 129 円							
					通学		#			172, 7						
						学用品 存行費				213, 3	00円					
					給食				+	564, 8						
					交流					351, 6						
					職場是	交習(通費		3	, 598, 9	02 円					
							計		5	, 274, 7	28 円					
				経済的な事情に る生徒の保護者に												及へ就学す
					_,,,		2530 557.		, , = = , - , ,	1 120			_ ,,		-0	
成			果													
				経済的に就学園 生徒の就学支援が									き的!	こ助成す	ること	により、
				工派の航子又振り	い凶られ	っして	こかり、こ	71友 て	が 本流 していく	必安ル	.മെ					
成果	に係	る計	半価													
-															1	単位:円)
								Т			-1.63				(平世 □ □
				₹			h 성학 성포				決算額	便の財	源内	訳		
予算	の執	行り	けい けいしゅう けいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう しゅうしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう	予算額		Э	や算額		国(県)支出金	†#h	方債	Т	7	の他		-般財源
				F0 004	000		E0 454	+		ئام ا	,刀 艮	+		-7 IC	+	
				59, 901,	UUU		53, 451,	103	2, 183, 347						5	1, 268, 406

予	10 款	教育費	第2章の	性と創造性豊かな未 担い手をはぐくむま	来 ち 復)			
算科	3 項	中学校費	計 第「即と	「生きる力」を持つ 「もたちを育成する	計)			
目	2 目	教育振興費		実した教育を行え 最境をつくる	る 画 ()			
	『施計画 載ページ	P 22	中事業中	学校図書整備事業	費				
事訓	業コード	002-001-003-00239	事 業 名 学	校図書整備事業(中学校)				
目的及	なび事業内容	全国的な傾向である。 育における言語力の海 年度から平成28年度ま している。本市も学校 とにより豊かな人格形 校図書を整備するもの。	養に資するためにに での5年間を新たな 教育の中で、学校園 成、基礎的な言語:	は、学校図書館の充 「学校図書館図書 別書を積極的に活用	実が必要であ 整備5カ年計画 LL 児童生徒	るとの認識に基 」として策定し の ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・	基づき、平成24 ン、整備を推進 - 属堆進するこ		
		市内全ての中学校に 充足率の学校に予算を 図書の充実を図った。 前年度に比べ寄贈数 (マー学校図書の整備	重点配分したことには減ったが、補正で	こよる購入のほか、	厚意での図書	の寄附による塾	整備により学校		
取糸	組実績	H22	H 23		H24	Н	25		
		10, 57	76 Ⅲ	10, 475 ጠ	7, 832	m	17, 497冊		
		※ 寄贈を含む。学校図書の整備充実 進んで言葉を学び、感	性・表現力・創造だ)等の生きる力がよ	り育成された	•			
		図書の更新が進み廃が大幅に増えたことに、	より、充足率も上が			算措置額の増し	こより購入卌数		
成	果	H22	H23	1	H24	н	25		
/~	*	68. 2		61. 29%	64. 95	%	69. 77%		
		※ 平成25年度末での ※ 充足率は市内中学	校の平均である。		. 図 Z I - I + +	生の部間を紹かれ	- 小った 両 争ょ?		
成果(に係る評価	学校図書を学習活動 整備充実され、いつで 基本となる事業であり。	も気軽に利用できる	るような環境を整え	ることが必要				
							(単位:円)		
		7.07.47	決算額		決算額の	財源内訳			
			小弁似	. — — —					
予算(の執行状況	予算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		

予,	10	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	未来 いまち 復	(()		
算 科	3	項	中学校費	合計	第 1 節	「生きる力」を持 どもたちを育成す	iつ子 男 る 計	+ (()		
目	3	目	学校建設費	画	(3)	充実した教育を行 環境をつくる	える	(()		
	『施計画 載ペー		P 25	中	事 業	桃生中学校プール	·改築事業 第	費			
事	業コー	۴	002-001-003-00253	事	業名	桃生中学校プール	改築事業				
目的及	び事業	美内容	図る。 【事業内容】 ①地質			こついて、学習活動 一業務	かに支障を	きたな	いよう	改修・さ	牧築等の整備を
			地質調査業務及び実	施設計							
取着	組実	績	平成26年度の工事実)					(- V - 2		≘n.≘1 ≠ 8° e	
成		果									
成果(に係る	評価	実施設計が完了したた。	ことか	ら平成26年	度からの改築工事	■が着工可	能とな	:り、当: 	初の目的	的達成に寄与し
							決算	算額の	財源内詞	 尺	
予算の	の執行	状況	予算額	5	快算額	国(県)支出金	地方位	債	その	の他	一般財源

予	10	款	教育費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	未来まち	復	()		
算科	3	項	中学校費	合計	第 1 節	「生きる力」を持 どもたちを育成す	つ子 る	興計	()		
目	3	目	学校建設費	画	(3)	充実した教育を行 環境をつくる	える	画	()		
	₹施計値 載ペー		P 23	中	事 業	住吉中学校空気調	和設備	機器等	機能復用	日事業	
事業コード			002-001-003-00247		業名	住吉中学校空気調					
目的及	なび事業	《内容	本校の空気調和設備 老朽化が進み、メン 教育環境を図るため、 工事を実施するもの。	テナン	スの範囲に	おいて維持してい	くこと	が困難	になって	ていること	から、良好な
取	組実	績	住吉中学校空気調和		器等機能復	旧事業に係る機能	語調查	養務を 写	と した。	,	
成		果	機能調査業務が完了	∪t:。							
成果	に係る	評価	機能調査業務の完了が可能となり、事業目				เกอติ	文修 設言	十、機能 1	复旧工事	に着手すること
								21 95 ¢=	ΩH: ::= →		(単位:円)
予質	の執行	状況	予算額	ž	 快算額		l		の財源内		
. 71	- / T/N]	J. 1/16	0.010.05		0.400	国(県)支出金	地	方債	7	の他	一般財源
			2, 310, 000		2, 100, 0	00					2, 100, 000

4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円(H25年度執行額 85,890,00 取 組 実 績	
3 目 学校建設費 (2) 機体が生物をはでくむ。 () 実施計画 掲載ページ 事業コード 事業 名 特別支援教育共同実習所建設事業 老朽化した特別支援教育共同実習所を改築し、支援を要する生徒の安全の確保と教育環境の整備を図る。また、建設期間中においては、仮設特別支援教育共同実習所にて、継続して実習を実施3目的及び事業内容 特別支援教育共同実習所建設事業 (契約額) 1 特別支援教育共同実習所建設事業 (契約額) 1 特別支援教育共同実習所建設事業 (契約額) 1 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 2 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 85,890,00 所別支援教育共同実習所建設工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年 ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。	
掲載ページ 事業 特別支援教育共同実習所建設事業 老朽化した特別支援教育共同実習所を改築し、支援を要する生徒の安全の確保と教育環境の整備を図る。また、建設期間中においては、仮設特別支援教育共同実習所にて、継続して実習を実施すると、表別支援教育共同実習所建設事業 特別支援教育共同実習所建設事業 契約額 1 特別支援教育共同実習所建設事業 4 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 2 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 5 特別支援教育共同実習所建設工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,90 13,857,	
老朽化した特別支援教育共同実習所を改築し、支援を要する生徒の安全の確保と教育環境の整備を図る。また、建設期間中においては、仮設特別支援教育共同実習所にて、継続して実習を実施で、特別支援教育共同実習所建設事業(契約額) 1 特別支援教育共同実習所建設予定地地質調査業務 3,794,700円 (H24年度完了) 2 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 3 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 13,857,90 5 年) 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 5 年) 18,254 1	
を図る。また、建設期間中においては、仮設特別支援教育共同実習所にて、継続して実習を実施を 特別支援教育共同実習所建設事業 (契約額) 1 特別支援教育共同実習所建設予定地地質調査業務 3,794,700円 (H24年度完了) 2 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 3 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,90 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,90 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,90 17,245	
1 特別支援教育共同実習所建設予定地地質調査業務 3,794,700円 (H24年度完了) 2 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 3 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共和 13,857,9	
2 特別支援教育共同実習所建設工事設計業務 12,600,000円 (H24年度完了) 3 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円 (H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円 (H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年 ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。	
3 特別支援教育共同実習所建設工事監理業務 5,040,000円(H25年度執行額 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円(H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円(H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円(H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円(H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円(H25年度未成 13,857,90	
取 組 実 積 4 特別支援教育共同実習所建設工事 186,420,150円(H25年度執行額 85,890,00 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円(H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円(H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円(H25年度執行額 13,857,90 特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。	
取 組 実 績 5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円(H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円(H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円(H25年度執行額 13,857,90 特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年 ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。	0円)
5 特別支援教育共同実習所建設電気設備工事 17,325,000円 (H25年度執行額 6 特別支援教育共同実習所建設機械設備工事 41,265,000円 (H25年度執行額 20,630,00 7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年 ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。	00円)
7 仮設特別支援教育共同実習所賃貸借 17,245,860円 (H25年度執行額 13,857,90 17,245,860円 (H25年度共享任 14,850円 (H25年度年 14,850円 (H25年	0円)
特別支援教育共同実習所建設のための、地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。)0円)
ついては、各種工事が進められたほか、仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始した。)0円)
H26年度の完成に向け、関係課と連携しながら、特別支援教室共同実習所建設事業を推進した。	羊度に
成果に係る評価	
決算額の財源内訳	
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般則	5:円)
343, 254, 628 120, 377, 900 120, 37	<u>ኔ : 円)</u>